



持続可能なまちづくり集中支援事業  
周南市都心軸ウォーカブルな  
まちづくりビジョン

2026.3 周南市



## 01

**ビジョンの位置づけ・目的**

- 1-1 ビジョンの位置づけ
- 1-2 対象区域と都心軸の役割
- 1-3 これまでの取組
- 1-4 検討体制

## 02

**まちの現況把握及び分析**

- 2-1 都心軸の特性
- 2-2 年齢層別の特性とニーズ分析
- 2-3 課題の整理

## 03

**まちづくり基本方針**

- 3-1 中心市街地活性化の方針
- 3-2 課題解決に向けた方向性
- 3-3 ウォークラブルなまちづくりの考え方
- 3-4 実現イメージ

## 04

**社会実験による検証**

- 4-1 社会実験の検証内容と実施概要
- 4-2 検証結果と課題

## 05

**基本方針に基づく各取組**

- 5-1 拠点機能の強化
- 5-2 拠点間の連携強化
- 5-3 憩いの空間の創出
- 5-4 官民連携まちづくり
- 5-5 デジタル技術の活用
- 5-6 取組一覧表

## 06

**エリア別の取組**

- 6-1 回遊性向上に向けたエリア設定
- 6-2 徳山駅から市役所周辺における取組
- 6-3 市役所周辺から徳山動物園周辺における取組
- 6-4 徳山駅南口から港周辺における取組

## 07

**実現のための課題・プロセス**

- 7-1 実現のための推進体制
- 7-2 実現に向けたプロセスと課題

### 策定の背景

周南市では、徳山港～徳山駅～市役所～徳山公園までの区間を『都心軸』と位置づけ、周南地域の中心都市にふさわしい魅力ある拠点の形成を図ることとしています。

都心軸には、戦災復興土地区画整理事業で作られた整然とした都市基盤を生かし、徳山港や徳山公園周辺など自然と文化を感じられるエリア、徳山駅周辺や市役所周辺などの利便性の高いエリアが存在するなど、暮らしやすいコンパクトな市街地が形成されています。今後は、更なる各エリアの拠点性の強化と合わせ、官民が一体となって、**回遊性を生み出し、都心軸全体に賑わいを広げることが求められています。**

### 位置づけと目的

本ビジョンは、まちづくり総合計画や都市計画マスタープラン、立地適正化計画などを上位計画とし、**中心市街地の都心軸におけるまちづくりの基本的な計画**として位置づけます。

都心軸の将来像（ビジョン）を共有するとともに、拠点性および回遊性の強化に向けた施策を取りまとめ、**持続可能でウォーカブルなまちづくり**を官民連携で進めることを目的とします。



第2期周南市中心市街地活性化基本計画区域

#### 01 ビジョンの位置づけ ・目的

##### ビジョンの位置づけ

対象区域と都心軸の役割  
これまでの取組  
検討体制

#### 02 まちの現況把握及び 分析

#### 03 まちづくり基本方針

#### 04 社会実験による検証

#### 05 基本方針に基づく 各取組

#### 06 エリア別の取組

#### 07 実現のための課題・ プロセス

## 対象区域

本ビジョンの対象区域は、  
**第2期周南市中心市街地活性化基本計画の区域を基本**  
 とし、必要に応じて、その周辺も含めることとします。

## 都心軸の位置づけ

都心軸は、徳山港～徳山駅～市役所～徳山公園までの区間とし、  
 本市の顔となるシンボリックな性格を持っています。

この区域のレクリエーション・交通拠点にはフェリーター  
 ミナル、商業業務・交通拠点には商店街やオフィス・徳山駅  
 など、行政拠点には市役所や山口県周南総合庁舎など、  
 市民・文化拠点には動物園や文化会館など、拠点周辺には  
 公園緑地があり、住宅地が広がっています。

各拠点施設の利用者は、この区域の居住者だけではなく、  
 ビジネスマン、学生、観光客など、市内外からの多様な  
 世代や目的の来街者による利用が想定されます。

また、景観計画における景観形成重点地区に  
 指定されており、周南市を象徴する場所として  
 魅力ある空間づくりが求められます。

01 ビジョンの位置づけ  
・目的

ビジョンの位置づけ

## 対象区域と都心軸の役割

これまでの取組

検討体制

02 まちの現況把握及び  
分析

## 03 まちづくり基本方針

## 04 社会実験による検証

05 基本方針に基づく  
各取組

## 06 エリア別の取組

07 実現のための課題・  
プロセス

- 01 ビジョンの位置づけ・目的
- 02 まちの現況把握及び分析
- 03 まちづくり基本方針
- 04 社会実験による検証
- 05 基本方針に基づく各取組
- 06 エリア別の取組
- 07 実現のための課題・プロセス

### 主な取組

都心軸では、徳山駅周辺整備事業をはじめ、拠点性および回遊性の強化に向けて様々な事業に取り組んでいます。

#### 官民連携による管理運営



#### 動物園リニューアル



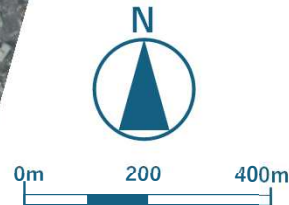
#### 自動運転EVバス実証運行



#### 市役所本庁舎建設



#### 道路空間整備

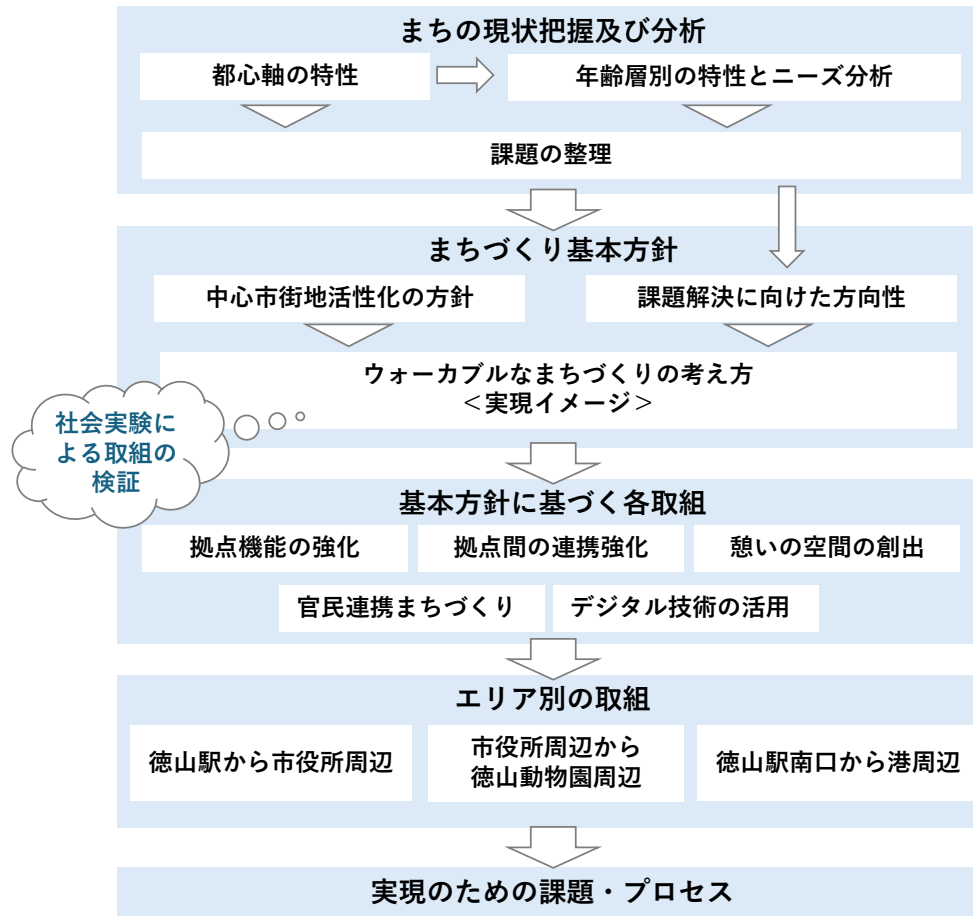


- 01 ビジョンの位置づけ・目的
- 02 まちの現況把握及び分析
- 03 まちづくり基本方針
- 04 社会実験による検証
- 05 基本方針に基づく各取組
- 06 エリア別の取組
- 07 実現のための課題・プロセス

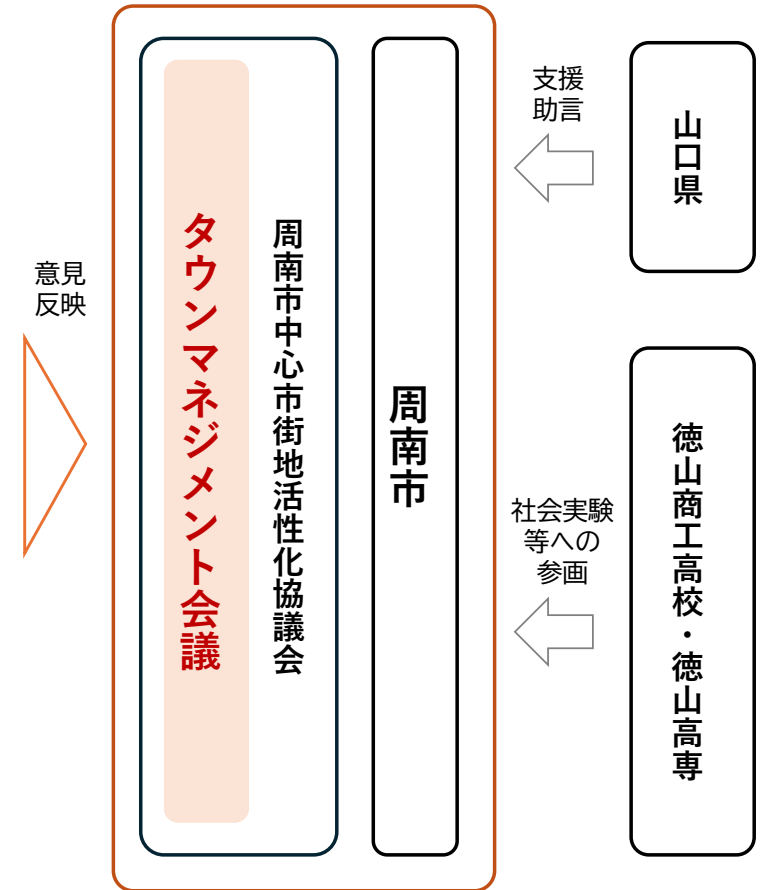
ビジョンの検討にあたっては行政と民間が一体となって取り組むことが重要です。

周南市と周南市中心市街地活性化協議会タウンマネジメント会議が地域プラットフォームとして、官民連携での取組の方向性を検討します。

[検討フロー]

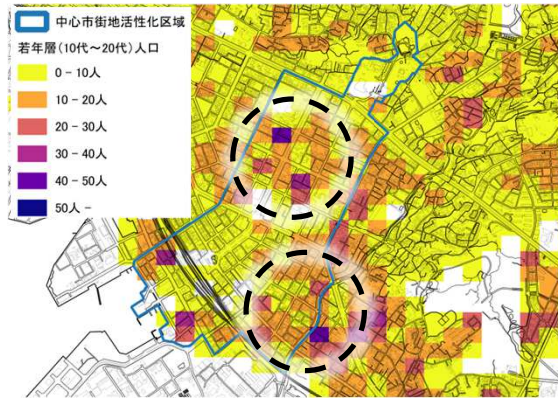


[地域プラットフォームによる検討体制]



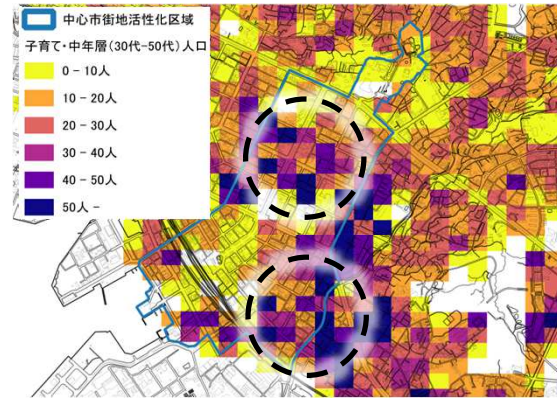
## 居住特性&lt;人口分布2020年&gt;

[若年層(10代~20代)分布]



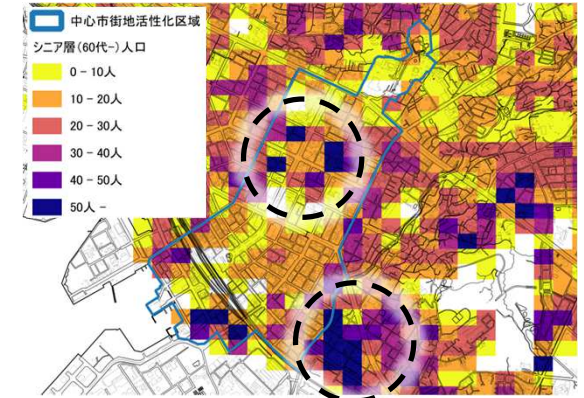
中心市街地には、約2,200人の若年層が居住している。特に中心市街地区域の北側と東側に若年層人口の集積が見られる。

[子育て・中年層(30代~50代)分布]



中心市街地には、約5,100人の子育て・中年層が居住している。特に中心市街地区域の北側と東側に子育て・中年層人口の集積が見られる。

[シニア層(60代~)分布]



中心市街地には、約4,250人のシニア層が居住している。特に中心市街地区域の北側や区域外の東側にシニア層人口の集積が見られる。

【年齢層の定義】 若年層：10代~20代  
子育て・中年層：30代~50代  
シニア層：60代以上

資料：2020年国勢調査を基に100mメッシュに独自加工（推計値のため実数ではない）

## 考察

- 10代~50代の若者、子育て・中年層が、中心市街地の人口のうち約60%を占めており、市全体と比較して高くなっています。特に、中心市街地の東側・北側のエリアには、若年層や子育て・中年層が居住しており、近年のマンション建設が原因と考えられます。
- 今後は、若年層や子育て・中年層が生活しやすい都市環境の充実が重要となります。

01 ビジョンの位置づけ・目的

02 まちの現況把握及び分析

都心軸の特性

年齢層別の特性とニーズ分析  
課題の整理

03 まちづくり基本方針

04 社会実験による検証

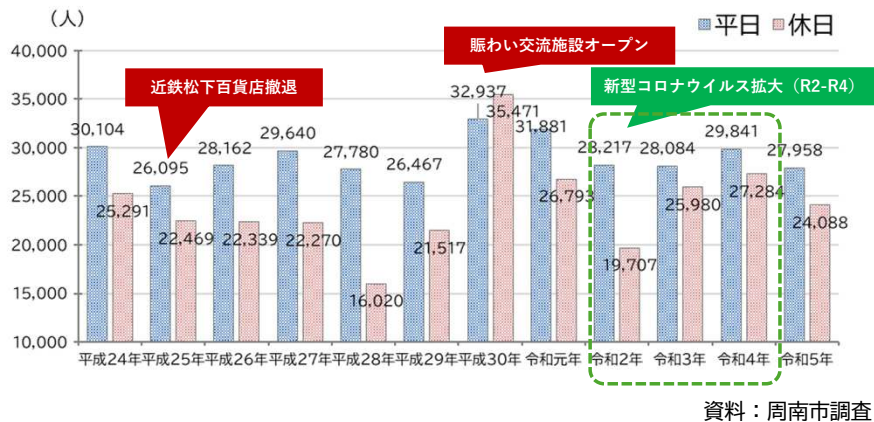
05 基本方針に基づく各取組

06 エリア別の取組

07 実現のための課題・プロセス

## 来街特性＜歩行者通行量の推移①＞

[歩行者・自転車通行量（平日・休日10時～19時）]

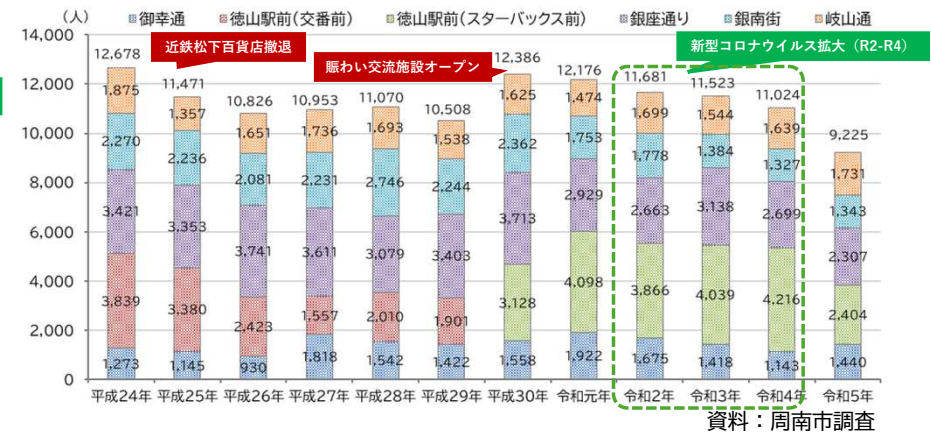


通行量（平成29年以前は14地点の合計、平成30年以降は15地点の合計）は、一時的に増加したものの、コロナ禍以降、減少している（平日・H24：30,104人⇒R5：27,958人）。また、平日と休日では、休日の方が通行量が少なくなっている。

## 考察

- 通行量は、近鉄松下百貨店の撤退により平成25年に減少し、特に休日はそれ以降も減少しました。平成30年には賑わい交流施設がオープンし、一時的に増加しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、減少傾向にあります。徳山駅周辺（スターバックス前や銀座通り）は全体通行量の約60%を占めており、御幸通、銀南街、岐山通の通行量は徳山駅周辺と比べて少ない状況です。
- 徳山駅周辺の通行・滞在を活かしながら、人の流れを周辺エリアへと広げていくことが求められます。

[主要5箇所歩行者・自転車通行量（平日10時～19時）]



歩行者・自転車の通行量は、平成24年から平成29年にかけて減少しており、特に徳山駅前で減少している。平成30年に賑わい交流施設のオープンに併せて、徳山駅前や銀座通り等の通行量は増加しているが、その後は減少傾向にある。（令和5年は徳山デッキのオープンにより歩行者動線の変化が影響）

01 ビジョンの位置づけ・目的

02 まちの現況把握及び分析

都心軸の特性

年齢層別の特性とニーズ分析

課題の整理

03 まちづくり基本方針

04 社会実験による検証

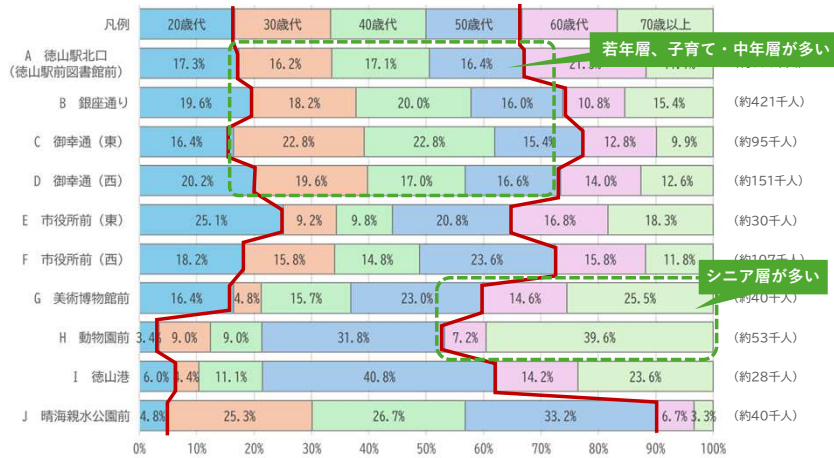
05 基本方針に基づく各取組

06 エリア別の取組

07 実現のための課題・プロセス

## 来街特性&lt;歩行者通行量の推移②&gt;

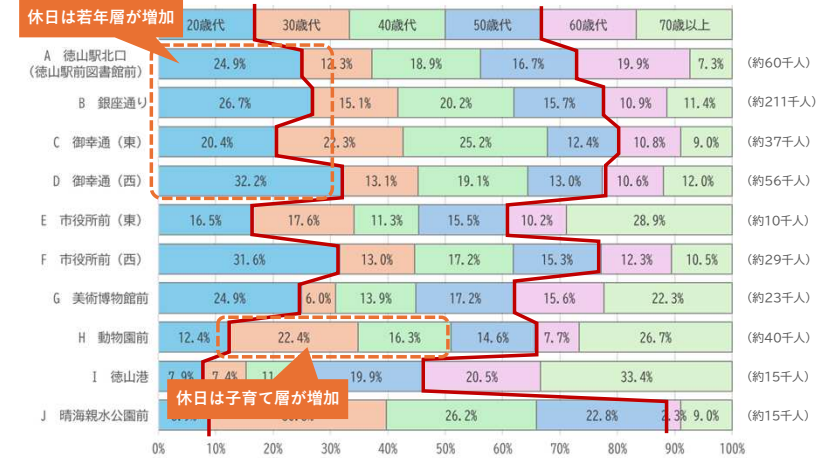
[人流データからみたゾーン別歩行者割合 年齢別(平日)]



若年層、子育て・中年層が多い

シニア層が多い

[人流データからみたゾーン別歩行者割合 年齢別(休日)]



休日は若年層が増加

休日は子育て層が増加

資料：KDDI Location Analyzer

\*期間：2023年4月1日～2024年3月31日(平日・休日別)

\*時間：6時～24時

\*グラフ右欄の数値は、上記期間の合計推計値

場所ごとの通行量を年代別に見ると、銀座通り、御幸通、市役所前、晴海緑地公園前では50歳代以下(若年層、子育て・中年層)の歩行者割合が多い。また、美術博物館前、動物園前、徳山港では、その他のエリアと比べて60歳代以上(シニア層)の歩行者割合が多くなる。休日は、御幸通、市役所前は20歳代(若年層)の割合が多くなる。また、美術博物館前でも20歳代(若年層)の割合が多くなり、動物園前は20歳代(若年層)や30歳 - 50歳代(子育て・中年層)の割合も多くなる。

## 考察

- 平日は、通行量が多い商業・ビジネス・行政のエリアにおいて、若年層、子育て・中年層の歩行者割合が多いエリアと、シニア層の割合が多いエリアが分かれる傾向にあります。休日には、御幸通や市役所前で若年層の歩行者割合が増加し、動物園では子育て・中年層となる30歳代の歩行者割合が増える傾向です。
- 平日・休日の歩行者の年代層の違いを踏まえ、それぞれのエリアの特性に合わせた施策展開を検討することが重要です。

01 ビジョンの位置づけ・目的

02 まちの現況把握及び分析

都心軸の特性

年齢層別の特性とニーズ分析  
課題の整理

03 まちづくり基本方針

04 社会実験による検証

05 基本方針に基づく各取組

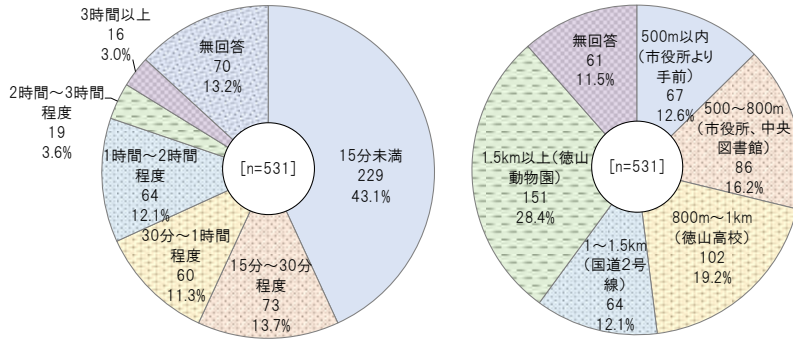
06 エリア別の取組

07 実現のための課題・プロセス

### 回遊特性<アンケート調査>

既存データやビッグデータでは把握が難しい市民の意見を把握するために、アンケート（令和7年2月実施）を実施しました。主なアンケート結果は次のとおりです。

#### 高校生・学生 [滞在時間・歩行距離]



#### 【滞在時間】

- 高校生・学生は滞在時間が短い傾向（15分未満が最も多い）

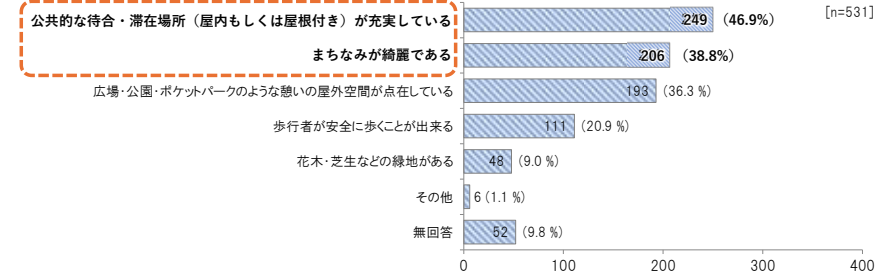
#### 【歩行距離】

- 歩行距離としては、1.5km以上可能と答える人が約3割と多く、中心市街地の広域的な回遊も可能

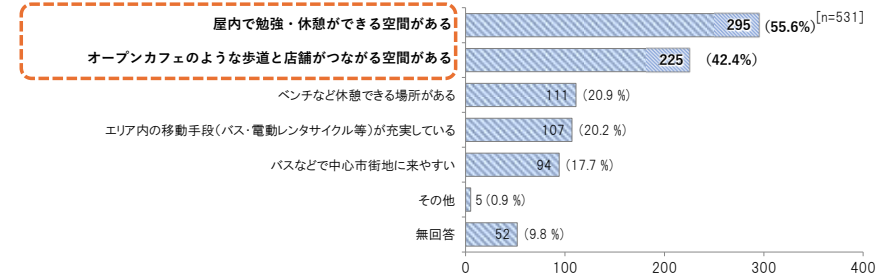
#### 【回遊性向上や利用増加ニーズ】

- 趣味・娯楽施設、勉強・休憩できる屋内空間、待合場所、飲食店、オープンカフェ、綺麗なまちなみ、公園・広場等

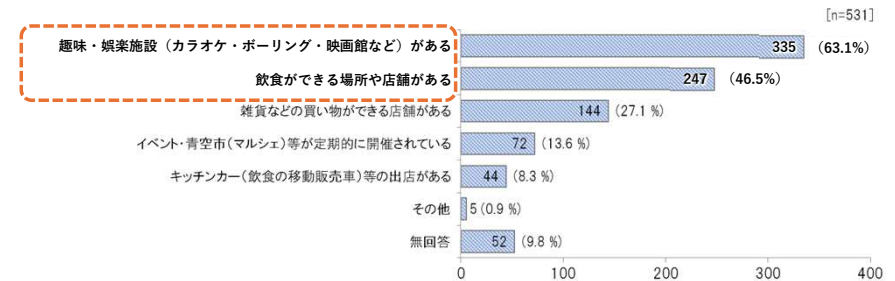
#### 【回遊性向上や利用増加のニーズ（行政主導の取組）】



#### 【回遊性向上や利用増加のニーズ（行政と民間が連携した取組）】



#### 【回遊性向上や利用増加のニーズ（民間主導の取組）】



- 01 ビジョンの位置づけ・目的
- 02 まちの現況把握及び分析
  - 都心軸の特性
  - 年齢層別の特性とニーズ分析
  - 課題の整理
- 03 まちづくり基本方針
- 04 社会実験による検証
- 05 基本方針に基づく各取組
- 06 エリア別の取組
- 07 実現のための課題・プロセス

## 2-1 都心軸の特性

01 ビジョンの位置づけ・目的

02 まちの現況把握及び分析

**都心軸の特性**  
年齢層別の特性とニーズ分析  
課題の整理

03 まちづくり基本方針

04 社会実験による検証

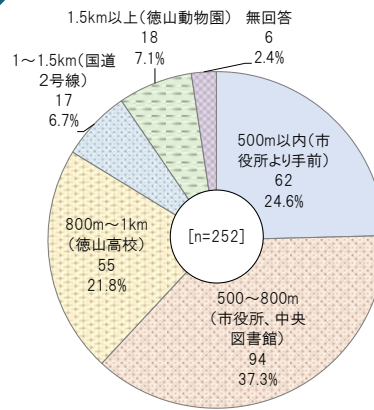
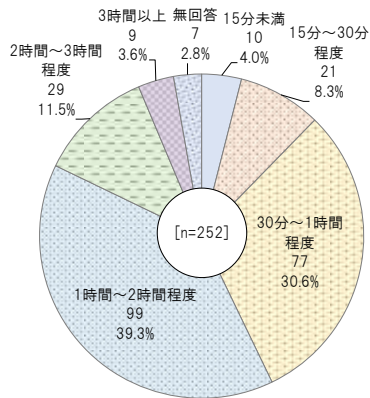
05 基本方針に基づく各取組

06 エリア別の取組

07 実現のための課題・プロセス

### 子育て・中年層（30代～50代）

### 【滞在時間・歩行距離】



### 【滞在時間】

- 子育て層の滞在時間は1時間以上が半数程度

### 【歩行距離】

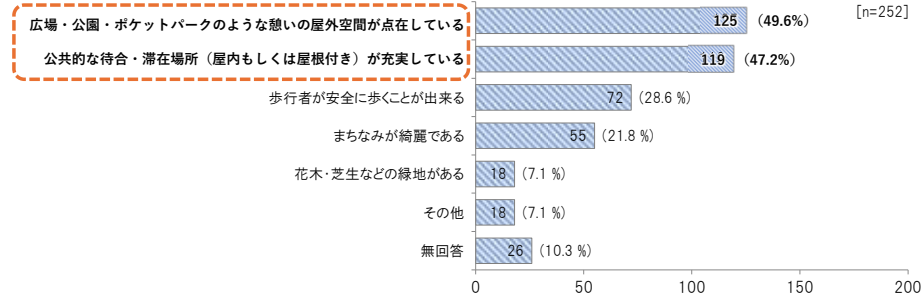
- 歩行距離800m以内が約6割

### 【回遊性向上や利用増加ニーズ】

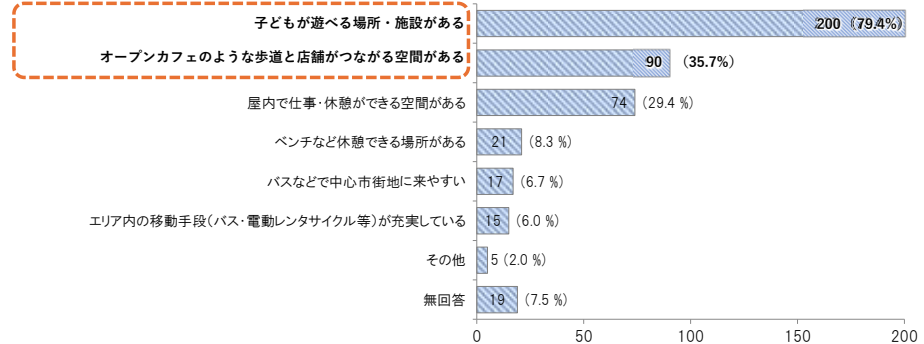
- 子どもが遊べる場所、飲食店、広場・公園・ポケットパーク、待合場所、趣味・娯楽施設、オープンカフェ、イベント、買物等



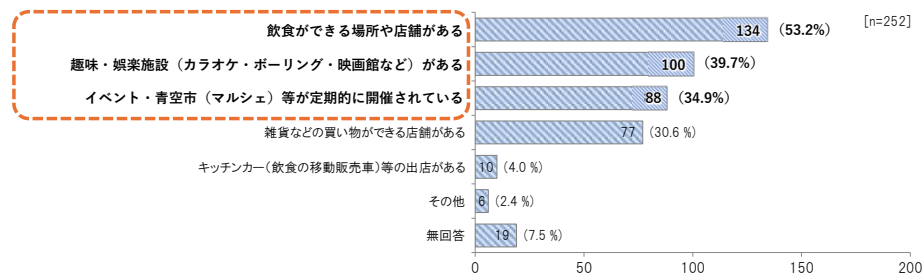
### 【回遊性向上や利用増加のニーズ（行政主導の取組）】



### 【回遊性向上や利用増加のニーズ（行政と民間が連携した取組）】

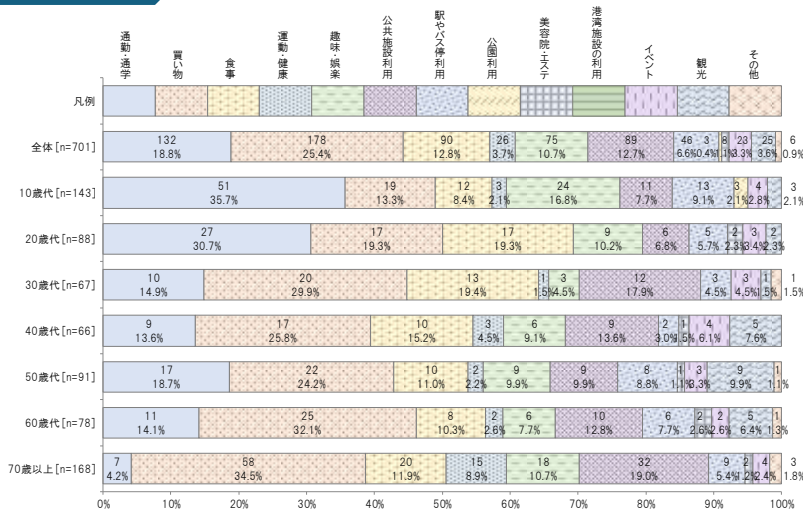


### 【回遊性向上や利用増加のニーズ（民間主導の取組）】



- 01 ビジョンの位置づけ・目的
- 02 まちの現況把握及び分析
  - 都心軸の特性
  - 年齢層別の特性とニーズ分析
  - 課題の整理
- 03 まちづくり基本方針
- 04 社会実験による検証
- 05 基本方針に基づく各取組
- 06 エリア別の取組
- 07 実現のための課題・プロセス

通行者 [中心市街地に来る目的 (年齢別)]



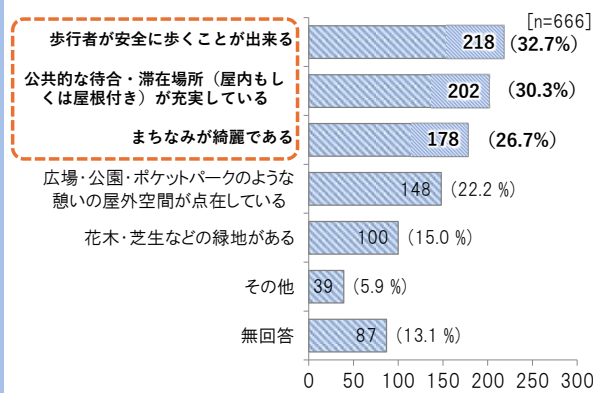
【中心市街地に来る目的】

- 若年層 (20代) …通勤・通学、買い物、食事、趣味・娯楽等
- 子育て・中年層 (30代～50代) …買い物、食事、公共施設利用等
- シニア層 (60代以上) …買い物、公共施設利用等

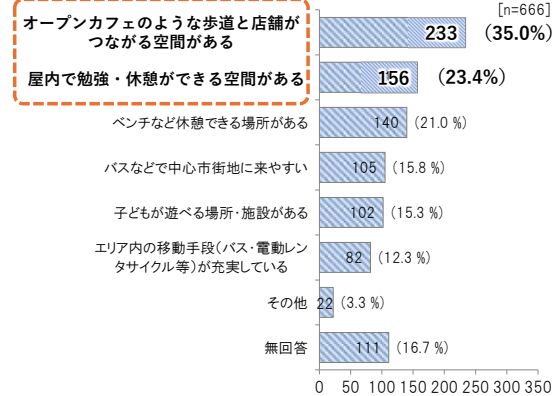
【回遊性向上や利用増加ニーズ】

- 飲食店、オープンカフェ、安全な歩行空間、趣味・娯楽施設、待合・滞在場所、仕事・勉強・休憩ができる空間等
- シニア層はベンチなど休憩できる場所、綺麗なまちなみ、雑貨などの買い物できる店舗等

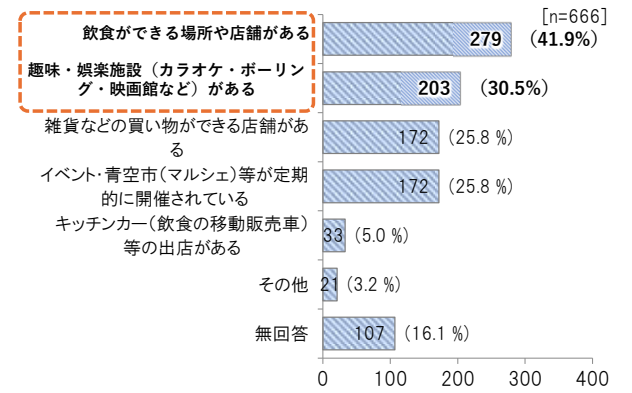
【回遊性向上や利用増加のニーズ (行政主導の取組)】



【回遊性向上や利用増加のニーズ (行政と民間が連携した取組)】

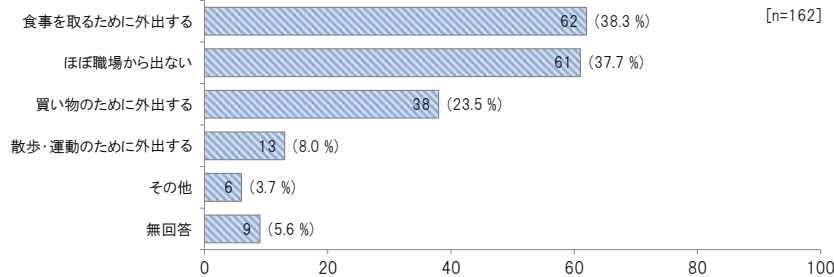


【回遊性向上や利用増加のニーズ (民間主導の取組)】



## ビジネス（勤務者）

## 【中心市街地で働く中での休憩中の外出状況】



## 【休憩時間の外出】

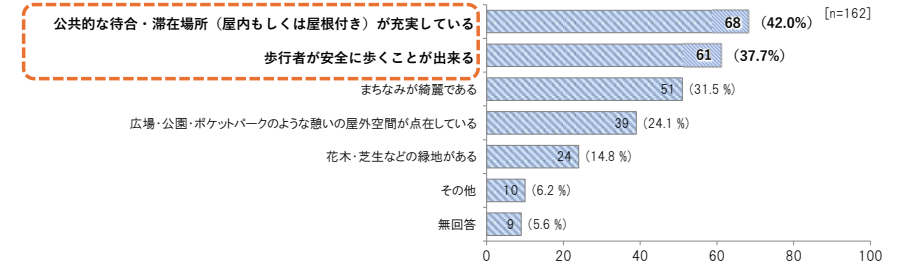
- 食事や買い物での外出
- ほぼ職場から出ない人も一定数存在

## 【回遊性向上や利用増加ニーズ】

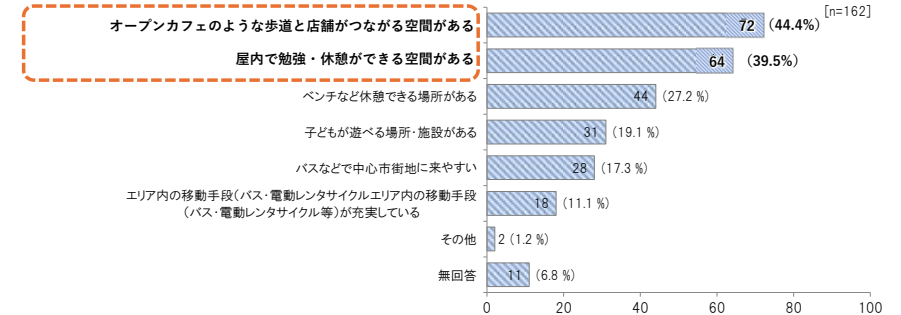
- 飲食店、オープンカフェ、待合場所、安全な歩行空間、仕事・勉強・休憩ができる空間、綺麗なまちなみ、イベント等



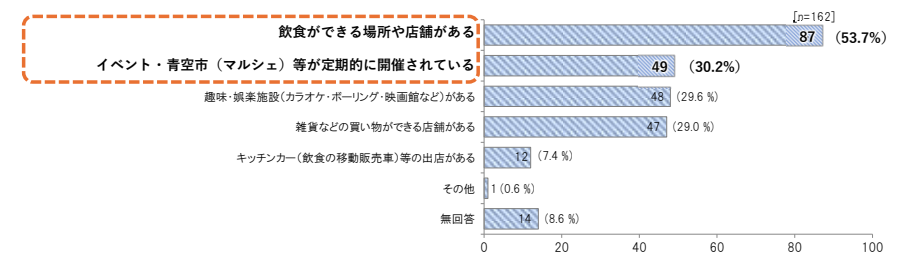
## 【回遊性向上や利用増加のニーズ（行政主導の取組）】



## 【回遊性向上や利用増加のニーズ（行政と民間が連携した取組）】



## 【回遊性向上や利用増加のニーズ（民間主導の取組）】



01 ビジョンの位置づけ・目的

02 まちの現況把握及び分析

都心軸の特性

年齢層別の特性とニーズ分析

課題の整理

03 まちづくり基本方針

04 社会実験による検証

05 基本方針に基づく各取組

06 エリア別の取組

07 実現のための課題・プロセス

01 ビジョンの位置づけ  
・目的02 まちの現況把握及び  
分析

都心軸の特性

年齢層別の特性とニーズ分析

課題の整理

03 まちづくり基本方針

04 社会実験による検証

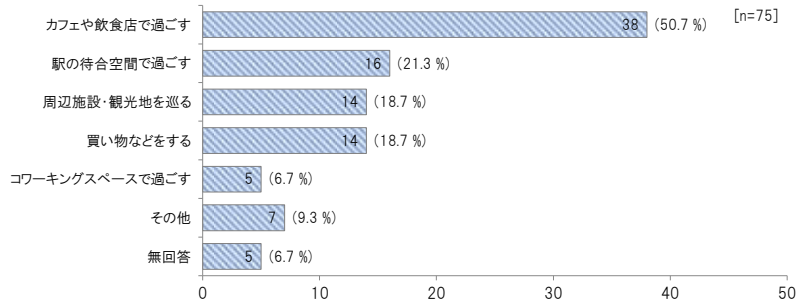
05 基本方針に基づく  
各取組

06 エリア別の取組

07 実現のための課題・  
プロセス

## ビジネス（出張者）

【出張先での会議・打合せ・商談等以外の使い方】



## 【出張先での時間の使い方】

- カフェや飲食店、駅の待合空間

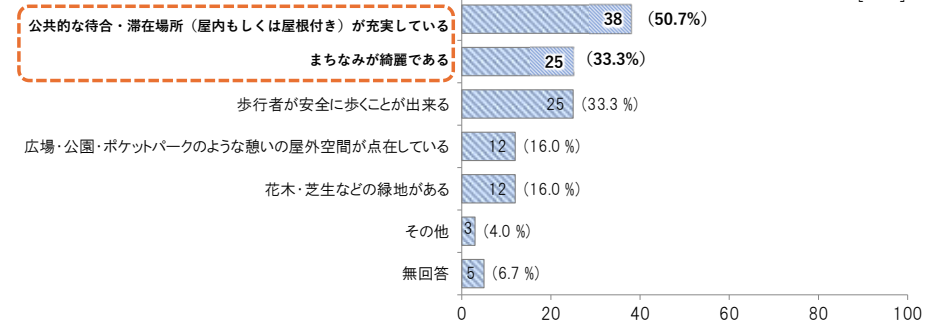
## 【回遊性向上や利用増加ニーズ】

- 飲食店、待合場所、仕事・勉強・休憩ができる空間、安全な歩行空間、綺麗なまちなみ、オープンカフェ、雑貨・お土産

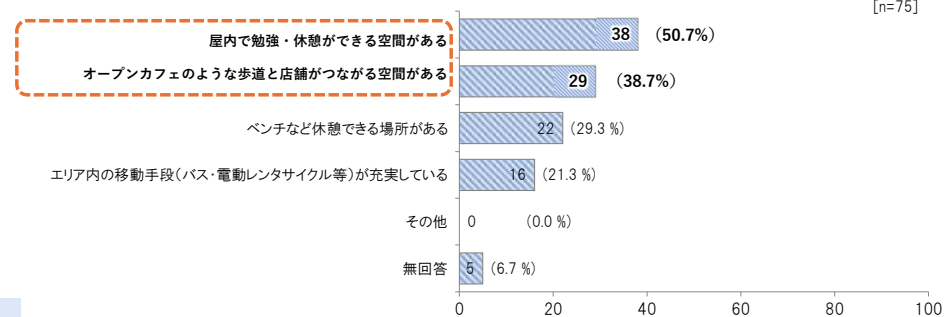
## 考察

- 高校生・学生、勤務者・出張者は共通して、待合場所、綺麗なまちなみ、仕事・勉強・休憩できる空間、オープンカフェ、飲食店のニーズが高く、また、子育て層は子どもが遊べる施設・遊び場、高校生・学生は趣味・娯楽施設のニーズが高くなっています。
- 回遊性の向上や利用の増加に向けては、ニーズを踏まえた機能強化や滞留空間・まちなみの整備が求められます。

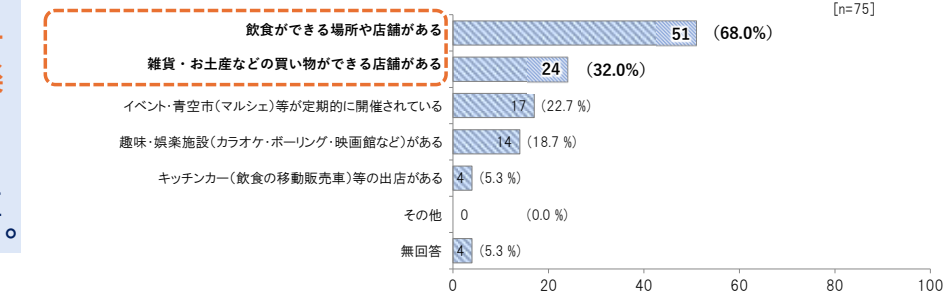
## 【回遊性向上や利用増加のニーズ（行政主導の取組）】



## 【回遊性向上や利用増加のニーズ（行政と民間が連携した取組）】



## 【回遊性向上や利用増加のニーズ（民間主導の取組）】



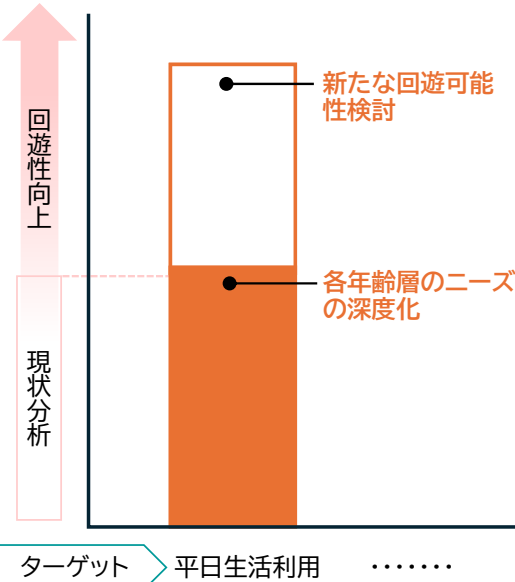
- 01 ビジョンの位置づけ・目的
- 02 まちの現況把握及び分析
- 03 まちづくり基本方針
- 04 社会実験による検証
- 05 基本方針に基づく各取組
- 06 エリア別の取組
- 07 実現のための課題・プロセス

分析の視点

徳山駅周辺における行動目的を細分化し、**エリアごとの回遊性向上に向けた方針、都心軸の空間形成・取組を検討**します。

そのため、想定される年齢層ごとに、既存データの整理・分析、ビッグデータ等の分析から現状の特性・課題を整理します。

《分析の視点》



行動目的

調査・分析にあたっては、これまでの検討経緯や地域の状況、都心軸の特性を踏まえ、目的と年齢層に応じてニーズに特性があることから、以下の**5つの行動目的別に設定**します。

調査を通じて、ターゲット層を想定しながら、回遊・行動範囲等を分析します。

日常

行動目的

非日常

平日生活利用

■**中心市街地やその周辺に居住し、日常的に利用**

- ・買物や飲食、滞在等で日常的に利用する若者を想定

通勤・通学利用

■**平日の日に学校や就業の場として日常的に利用**

- ・徳山駅を經由して徒歩やバスで通学している高校生・大学生を想定

休日非日常利用

■**休日に買物や飲食、イベント等で非日常的に利用**

- ・市内外から、徳山駅周辺や商店街等で買物や飲食等をする来街者を想定

ビジネス利用

■**徳山駅を利用し、ビジネスとして非日常的に利用**

- ・徳山駅を經由してビジネス(出張)で来街し、市街地でビジネスをする来訪者等を想定

観光利用

■**市内外から観光目的で非日常的に利用**

- ・動物園や文化施設等を利用する来訪者、観光客を想定

- ・中心市街地周辺に居住し、育児や日常の買物で回遊する子育て世代を想定
- ・散歩や買物、通院等で回遊・滞在する子連れ以外の層やシニア層等を想定

- ・中心市街地周辺のオフィスで、日中に働く就業者を想定

- ・市内外から、子連れで買物や飲食、公園利用等をする来街者を想定
- ・市内外から、買物や飲食等する子連れ以外の中年層やシニア層を想定

- 若年層 (10~20代)
- 子育て・中年層 (30~50代)
- シニア層 (60歳以上)

中心市街地の居住特性・来街特性・回遊特性から、特徴的な層をターゲット層と想定し、来街や滞在につながる新たなニーズを整理します。なお、前ページの年齢層・行動目的に対する分析結果は、「2-3 課題の整理」で整理します。

- 01 ビジョンの位置づけ・目的
- 02 まちの現況把握及び分析
  - 都心軸の特性
  - 年齢層別の特性とニーズ分析
  - 課題の整理
- 03 まちづくり基本方針
- 04 社会実験による検証
- 05 基本方針に基づく各取組
- 06 エリア別の取組
- 07 実現のための課題・プロセス



## 拠点ごとのターゲットの設定

ターゲットの分析から、年代別・平日休日別・行動目的別に拠点ごとの滞在・人流のターゲットを設定します。

## 市民・文化拠点

- 休日の滞在時間30分以上の子育て・中年層
- 平日のシニア層の人流

## 行政拠点

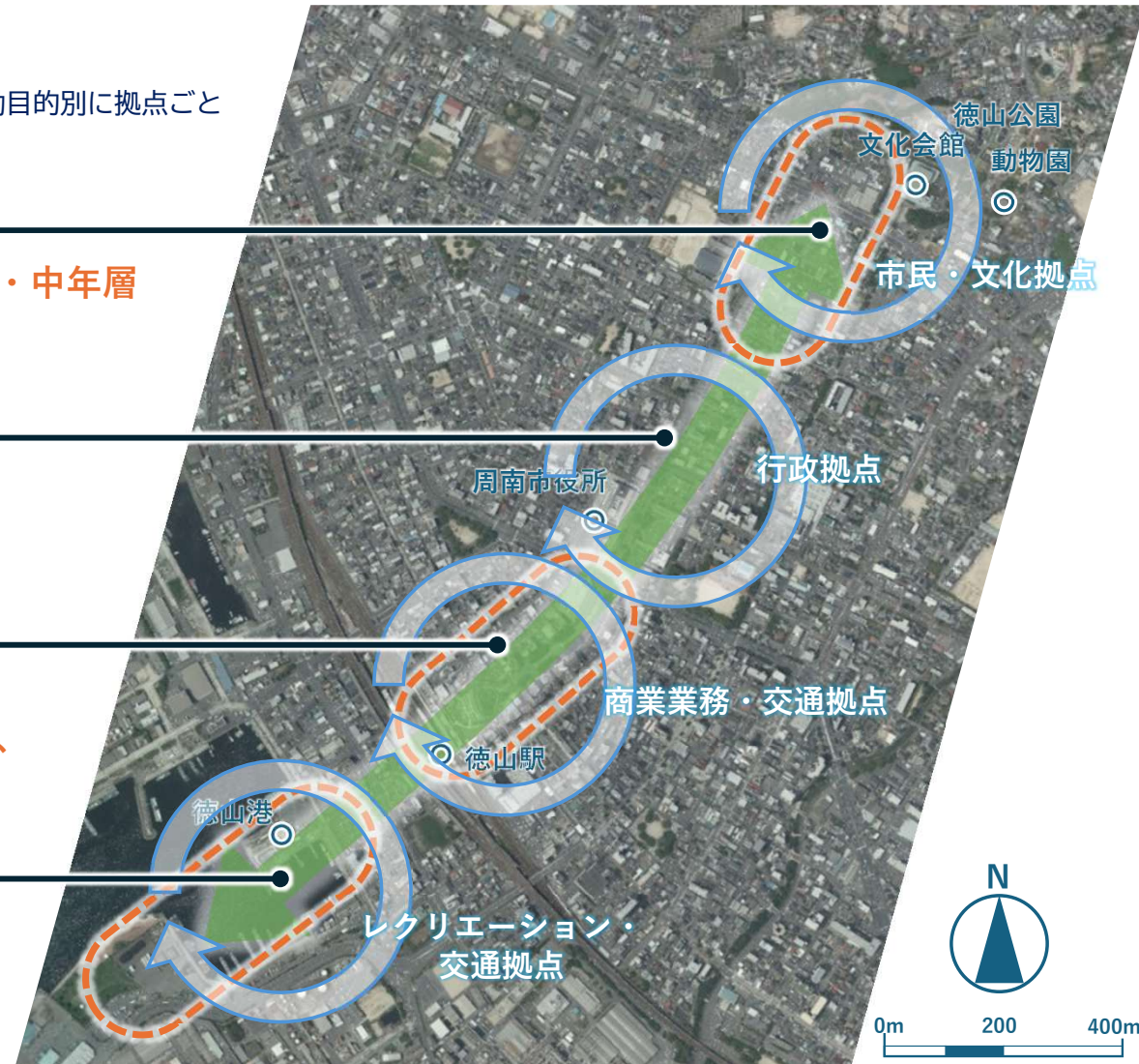
- 平日の来街者の人流
- 平日の子育て・中年層の人流

## 商業業務・交通拠点

- 休日の若者の人流
- 平日の滞在時間30分以上の若年層、子育て・中年層

## レクリエーション・交通拠点

- 休日の滞在時間30分以上の若年層
- 平日の滞在時間30分以上の子育て・中年層



01 ビジョンの位置づけ・目的

02 まちの現況把握及び分析

都心軸の特性

年齢層別の特性とニーズ分析

課題の整理

03 まちづくり基本方針

04 社会実験による検証

05 基本方針に基づく各取組

06 エリア別の取組

07 実現のための課題・プロセス

各種調査現状分析と回遊・利用ニーズから、ターゲット・行動目的別に課題を整理します。

01 ビジョンの位置づけ  
・目的

02 まちの現況把握及び  
分析

都心軸の特性  
年齢層別の特性とニーズ分析  
課題の整理

03 まちづくり基本方針

04 社会実験による検証

05 基本方針に基づく  
各取組

06 エリア別の取組

07 実現のための課題・  
プロセス

### 平日生活利用

#### 現状分析

- 7～9時台、17～18時台の歩行が多い
- 中心市街地地域の北側と東側に子育て・中年層の居住が多い
- シニア層は、美術博物館や動物園、徳山港等周辺で、他のエリアと比較して歩行者割合が高い

#### 回遊・利用ニーズ

- 若年層は、趣味・娯楽施設や飲食、屋内で仕事・勉強・休憩ができる空間のニーズが高い
- 子育て層は、食事や子どもが遊べる場所等のニーズが高い
- シニア層は、ベンチなど休憩できる場所での滞在ニーズが高い
- 滞留空間における平日夕方の子育て世代の利用ニーズが高い

#### 課題の整理

- 各ターゲット層の歩行距離に応じた**各拠点・エリアの小さな回遊**を生み出す仕掛けが必要
- 20歳代の利用が最も多い徳山駅周辺において**若年層の来街の目的となる趣味・娯楽機能の充実**が必要
- 子育て層のニーズが高い子どもの遊び場と連携した**大人の休憩環境・飲食の充実**が必要
- シニア層においては、歩いて快適に移動でき、ベンチやテーブルなどの**日常利用を支える休憩・滞在環境の充実**が必要

### 通勤・通学利用

#### 現状分析

- 学生の朝夕における一定数の安定した歩行
- 中心市街地の平日の歩行者のうち1/3が勤務者。特に、通勤時・休憩時の歩行者が多い

#### 回遊・利用ニーズ

- 学生の利用目的としては趣味・娯楽施設のニーズが高い
- 学生の滞在時間は短いですが、滞留・回遊を向上するためには待合空間や屋内で勉強・休憩ができる空間のニーズが高い
- 勤務者は待合場所や安全な歩行空間を求めており、また、休憩時間の食事や買い物による外出・回遊ニーズも高い

#### 課題の整理

- 学生には、**趣味・娯楽施設の誘致**や長時間快適に過ごすための空間整備、**日常的に気軽に利用できるパブリックスペースの充実**が必要
- 通勤者には、飲食や買い物など、回遊を支えるサービスの充実や、まちなかで**短時間でも過ごせる滞在環境の整備**が必要

01 ビジョンの位置づけ  
・目的02 まちの現況把握及び  
分析

都心軸の特性

年齢層別の特性とニーズ分析

課題の整理

03 まちづくり基本方針

04 社会実験による検証

05 基本方針に基づく  
各取組

06 エリア別の取組

07 実現のための課題・  
プロセス

## 休日非日常利用

現状分析

- 休日の徳山駅・御幸通・市役所前周辺では、若年層の歩行割合が高い
- 御幸通や銀座通り、市役所前、動物園で、平日と比較して休日の若年層や子育て・中年層の歩行割合が高くなる
- 平日と比較して休日の徳山港周辺は60歳代の歩行者割合が高くなる

回遊・  
利用ニーズ

- 学生は公共的な待合・滞在場所や綺麗なまちなみを求めている
- 若年層は休日の趣味・娯楽、買物の場として利用している
- 子育て・中年層は、待合空間や子どもが遊べる場所等による滞在可能性が高い
- 食事、趣味・娯楽の充実による滞在時間・消費拡大の可能性が高い

課題の  
整理

- 来街者のすべての層において**公共的な待合場所や休憩できる空間**が必要
- 若年層には**娯楽施設や飲食施設の充実**、イベントの開催、**子育て層には子ども向けの遊び場**が必要
- シニア層にとっては**安全な歩行空間**、若年層にとっては**御幸通や岐山通の綺麗なまちなみ景観の創出**が必要

## ビジネス利用

現状分析

- 御幸通周辺に事業所の立地が多い
- 商業・宿泊系施設周辺の出張者の歩行者が多い

回遊・  
利用ニーズ

- カフェや飲食、待合による滞在時間の拡大可能性が高い
- 雑貨やお土産の買い物ができる場所による消費拡大の可能性が高い
- 滞在空間における平日日中の勤務者利用ニーズが高い

課題の  
整理

- ビジネス目的での来街者・勤務者においては、**仕事や休憩ができる空間、飲食などの滞在空間と安全な歩行空間、魅力的なまちなみ空間の創出**が必要
- ビジネス目的での来街者においては、**飲食・買い物・移動の利便性向上**が必要

## 観光利用

現状分析

- 平日と比較して休日の動物園での30歳代ファミリー層の歩行割合が高い
- 美術博物館前や動物園前では60歳代の歩行者割合が高い

回遊・  
利用ニーズ

- 子育て層の滞在時間は1時間以上が半数程度となっている
- 回遊性の向上にあたっては、安全な歩行空間と待合場所、オープンカフェなどのニーズが高い

課題の  
整理

- 観光目的の**ファミリー層がゆっくり過ごせる飲食・休憩・交流空間**などの滞在に向けた取組が必要
- ファミリー層やシニア層が**安心して移動・回遊できる移動手段や歩行空間**が必要

## まちづくりの理念と方針

周南市は、第1期から第2期までの周南市中心市街地活性化基本計画において、まちづくりの理念として、

「まちのストックを活かした、豊かな心を育む 公園都市（パークタウン）周南」

「まちの資源を活かした、誰もが主役になれるまち 公園都市（パークタウン）周南」

を掲げて、「“賑わい”と“楽しさ”のあるまちづくり」「“利便性”と“快適さ”のあるまちづくり」を中心市街地活性化の基本方針として、中心市街地におけるまちづくりに取り組んできました。

都心軸においても、この理念の下、多様な資源の有効活用により、中心市街地が、まるで“公園”のように、高齢者・子育て世代・若者など誰にとっても利用しやすく、居心地が良い“みんなの公共空間”＝公園都市となるようなまちづくりを推進していきます。



01 ビジョンの位置づけ  
・目的

02 まちの現況把握及び  
分析

03 まちづくり基本方針

中心市街地活性化の方針

課題解決に向けた方向性  
ウォークラブルなまちづくりの  
考え方

実現イメージ

04 社会実験による検証

05 基本方針に基づく  
各取組

06 エリア別の取組

07 実現のための課題・  
プロセス

## 課題と方向性の整理

中心市街地活性化の方針を踏まえ、課題の整理から回遊性の実現に向けた方向性を整理します。

## 課題の整理

- 各ターゲット層の歩行距離に応じた**各拠点・エリアの小さな回遊**が必要<<平日生活利用>>
  - 子育て層のニーズが高い子どもの遊び場と連携した**大人の休憩環境・飲食の充実**が必要<<平日生活利用>>
  - シニア層においては、歩いて快適に移動でき、ベンチやテーブルなどの**日常利用を支える休憩・滞在環境の充実**が必要<<平日生活利用>>
  - ビジネス目的での来街者においては、**飲食・買い物・移動の利便性向上**が必要<<ビジネス利用>>
  - 観光目的の**ファミリー層がゆっくり過ごせる飲食・休憩・交流空間**などの滞在に向けた取組が必要<<観光利用>>
  - 20歳代の利用が最も多い徳山駅周辺において**若年層の来街の目的となる趣味・娯楽機能の充実**が必要<<平日生活利用>>
  - 学生には、**趣味・娯楽施設の誘致**や長時間快適に過ごすための空間整備、**日常的に気軽に利用できるパブリックスペースの充実**が必要<<通勤・通学利用>>
  - **若年層には娯楽施設や飲食施設の充実**、イベントの開催、**子育て層には子ども向けの遊び場**が必要<<休日非日常利用>>
- 
- シニア層には**安全な歩行空間**、若年層には、**御幸通や岐山通の綺麗なまちなみ景観の創出**が必要<<休日非日常利用>>
  - ファミリー層やシニア層が**安心して移動・回遊できる移動手段や歩行空間**が必要<<観光利用>>
  - **若年層には娯楽施設や飲食施設の充実**、イベントの開催、**子育て層には子ども向けの遊び場**が必要<<休日非日常利用>>※再掲
- 
- 通勤者には、飲食や買い物など、回遊を支えるサービスの充実や、まちなかで**短時間でも過ごせる滞在環境の整備**が必要<<通勤・通学利用>>
  - 来街者のすべての層において**公共的な待合場所や休憩できる空間**が必要<<休日非日常利用>>
  - ビジネス目的での来街者・勤務者には、**仕事や休憩ができる空間、飲食などの滞在空間と安全な歩行空間、魅力的なまちなみ空間の創出**が必要<<ビジネス利用>>
  - 子育て層のニーズが高い子どもの遊び場と連携した**大人の休憩環境・飲食の充実**が必要<<平日生活利用>> ※再掲
  - シニア層には、**安全な歩行空間**、若年層にとっては、**御幸通や岐山通の綺麗なまちなみ景観の創出**が必要<<休日非日常利用>>※再掲

## 方向性

## ①拠点性を高める（小さな回遊を高める）視点

各拠点や利用目的に応じた**滞留の場・回遊づくり**

生活サービス施設等の充実による**消費拡大**

安全で快適に過ごせる**空間の確保**

## ②拠点をつなぐ（大きな回遊を高める）視点

中心市街地の**統一的な街並みの形成**

先進技術を活用した**交通ネットワークの強化**

地域イベントや交流の**場づくり**

## ③憩いと交流の視点

**公共的な休憩スペースの整備**

エリアごとの特性を活かした**公園・道路等の空間活用**

良質なまちなみ・**デザインによる魅力ある空間づくり**

01 ビジョンの位置づけ・目的

02 まちの現況把握及び分析

03 まちづくり基本方針

中心市街地活性化の方針

課題解決に向けた方向性

ウォークラブルなまちづくりの考え方

実現イメージ

04 社会実験による検証

05 基本方針に基づく各取組

06 エリア別の取組

07 実現のための課題・プロセス

01 ビジョンの位置づけ  
・目的

02 まちの現況把握及び  
分析

03 まちづくり基本方針

中心市街地活性化の方針

**課題解決に向けた方向性**

ウォークラブルなまちづくりの  
考え方

実現イメージ

04 社会実験による検証

05 基本方針に基づく  
各取組

06 エリア別の取組

07 実現のための課題・  
プロセス

## 一拠点性を高める（小さな回遊を高める）視点一

### 各拠点や利用目的に応じた滞留の場・回遊づくり

商業業務・交通拠点における若年層は、休憩できる滞留の場、中心市街地の北側・東側周辺に多く居住する子育て層は、各拠点の小さな回遊の中で子どもが遊べる場など、各拠点の利用ニーズに応じた滞留の場や回遊づくりにより、時間を気しない来街や滞在、コミュニケーションの促進が期待されます。

### 生活サービス施設等の充実による消費拡大

商業施設や飲食店、娯楽施設の充実により、通勤・通学者や来街者、観光客が中心市街地を利用しやすくなり、来街や滞在の促進が期待されます。  
また、動物園のリニューアルや市民館跡地等の活用により、拠点の賑わいの創出が期待されます。

### 安全で快適に過ごせる空間の確保

道路の高質化、パークレットの整備等により、歩行者にとって安全で快適な道路空間や滞留の場を形成することで、拠点内を連続させ、滞在や回遊の促進が期待されます。



拠点機能の強化

01 ビジョンの位置づけ  
・目的

02 まちの現況把握及び  
分析

03 まちづくり基本方針

中心市街地活性化の方針

課題解決に向けた方向性

ウォークラブルなまちづくりの  
考え方

実現イメージ

04 社会実験による検証

05 基本方針に基づく  
各取組

06 エリア別の取組

07 実現のための課題・  
プロセス

## 一拠点をつなぐ（大きな回遊を高める）視点一

### 中心市街地の統一的な街並みの形成

徳山駅周辺から市役所周辺や徳山高校を繋ぐ御幸通・岐山通の歩行者ネットワークの強化や一体的な景観形成などにより、拠点間・エリア間の面的な繋がりが期待されます。

### 先進技術を活用した交通ネットワークの強化

広域交通結節点である徳山駅周辺を起終点として、先進技術なども活用し、区域内移動の利便性を高め、各拠点を繋げることで、来街者の長時間滞在や各拠点への来訪者の増加、消費の促進が期待されます。

### 地域イベントや交流の場づくり

住民や来街者等のニーズに合ったイベントや各拠点間、中心市街地外と連携したイベントの開催により、住民や来街者の自発的な参画、中心市街地内外の交流の促進が期待されます。



拠点間の連携強化

01 ビジョンの位置づけ  
・目的

02 まちの現況把握及び  
分析

03 まちづくり基本方針

中心市街地活性化の方針

課題解決に向けた方向性

ウォークラブルなまちづくりの  
考え方

実現イメージ

04 社会実験による検証

05 基本方針に基づく  
各取組

06 エリア別の取組

07 実現のための課題・  
プロセス

## 一憩いと交流の視点一

### 公共的な休憩スペースの整備

子育て層、シニア層、出張者（ビジネス利用）など、誰でも気軽に利用できる憩いの空間として、オープンカフェや屋内外の休憩スペースなど、来街者が快適に過ごせる場所を提供することで、長時間滞在や消費の促進、利便性の向上が期待されます。

### エリアごとの特性を活かした公園・道路等の空間活用

各エリアの特性を活かし、来街や利用の目的に合わせて、公園や道路空間、空き地を活用した公共空間を整備することで、賑わいの創出や居住者の生活の質の向上、長時間滞在が期待されます。

### 良質なまちなみ・デザインによる魅力ある空間づくり

景観形成重点地区として、統一感があり、歩きたくなる、居心地の良いまちなみ・魅力的で良質な空間づくりをマネジメントすることにより、長時間滞在や消費の促進、生活の質の向上が期待されます。

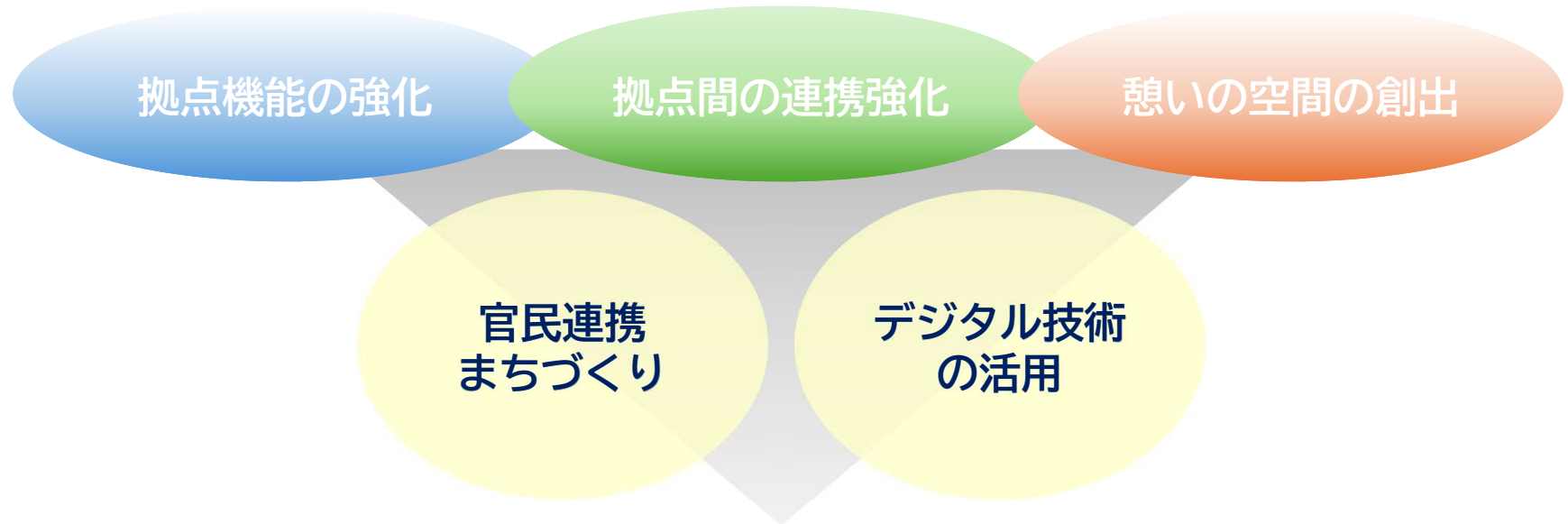


憩いの空間の創出

## 実現に向けた基本的な考え方

持続可能なウォーカブルなまちづくりを通して、まちづくりの理念である「公園都市（パークタウン）」と中心市街活性化の基本方針である「“賑わい”と“楽しさ”のあるまちづくり」「“利便性”と“快適さ”のあるまちづくり」を実現するために、**拠点機能の強化**に加え、**拠点間の連携強化**、**憩いの空間の創出**の3つを具体的なまちづくりの方針とします。

また、実施に向けては、**官民連携まちづくり**や**先進技術**を活用することとします。



「居心地よく歩いて過ごしたくなるまち」

01 ビジョンの位置づけ  
・目的

02 まちの現況把握及び  
分析

03 まちづくり基本方針

中心市街地活性化の方針  
課題解決に向けた方向性  
**ウォーカブルなまちづくりの  
考え方**  
実現イメージ

04 社会実験による検証

05 基本方針に基づく  
各取組

06 エリア別の取組

07 実現のための課題・  
プロセス

## 回遊性向上の考え方

## i - 拠点機能の強化

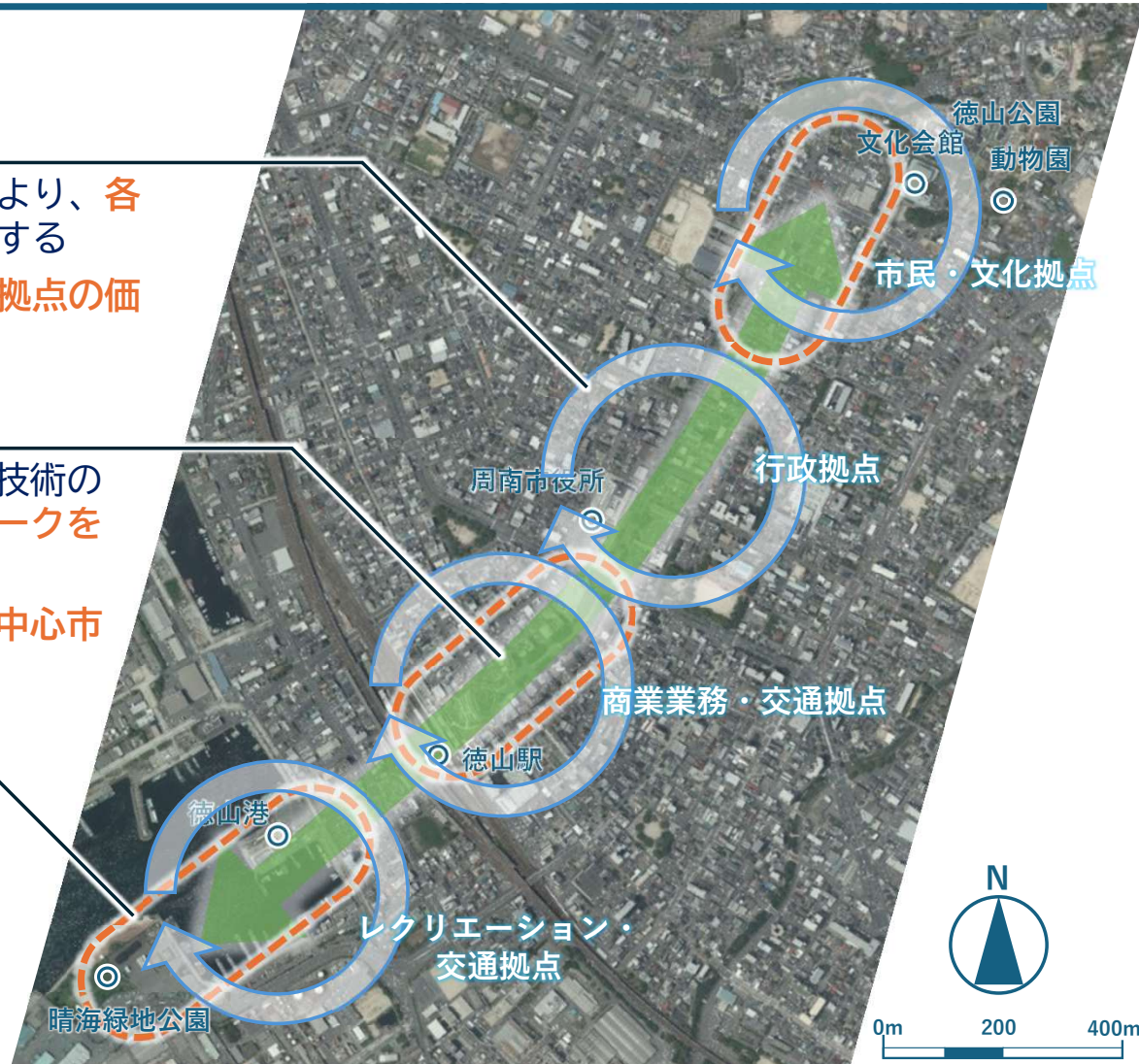
- ▶ 来街者に応じた小さな回遊の創出により、**各拠点におけるライフスタイルを実現する**
- ▶ 官民が連携した機能強化により、**各拠点の価値を向上する**

## ii - 拠点間の連携強化

- ▶ 歩きたくなる公共空間の整備、先進技術の活用などにより、**拠点間のネットワークを強化する**
- ▶ 都心軸からのはみ出し回遊により、**中心市街地での消費を拡大する**

## iii - 憩いの空間の創出

- ▶ 公共空間や空き地の活用・滞留促進により、**滞在時間を増加する**
- ▶ 官民連携より、**持続的なエリアマネジメントを構築する**



01 ビジョンの位置づけ・目的

02 まちの現況把握及び分析

03 まちづくり基本方針

中心市街地活性化の方針

課題解決に向けた方向性

ウォーカブルなまちづくりの考え方

実現イメージ

04 社会実験による検証

05 基本方針に基づく各取組

06 エリア別の取組

07 実現のための課題・プロセス

01 ビジョンの位置づけ・目的

02 まちの現況把握及び分析

03 まちづくり基本方針

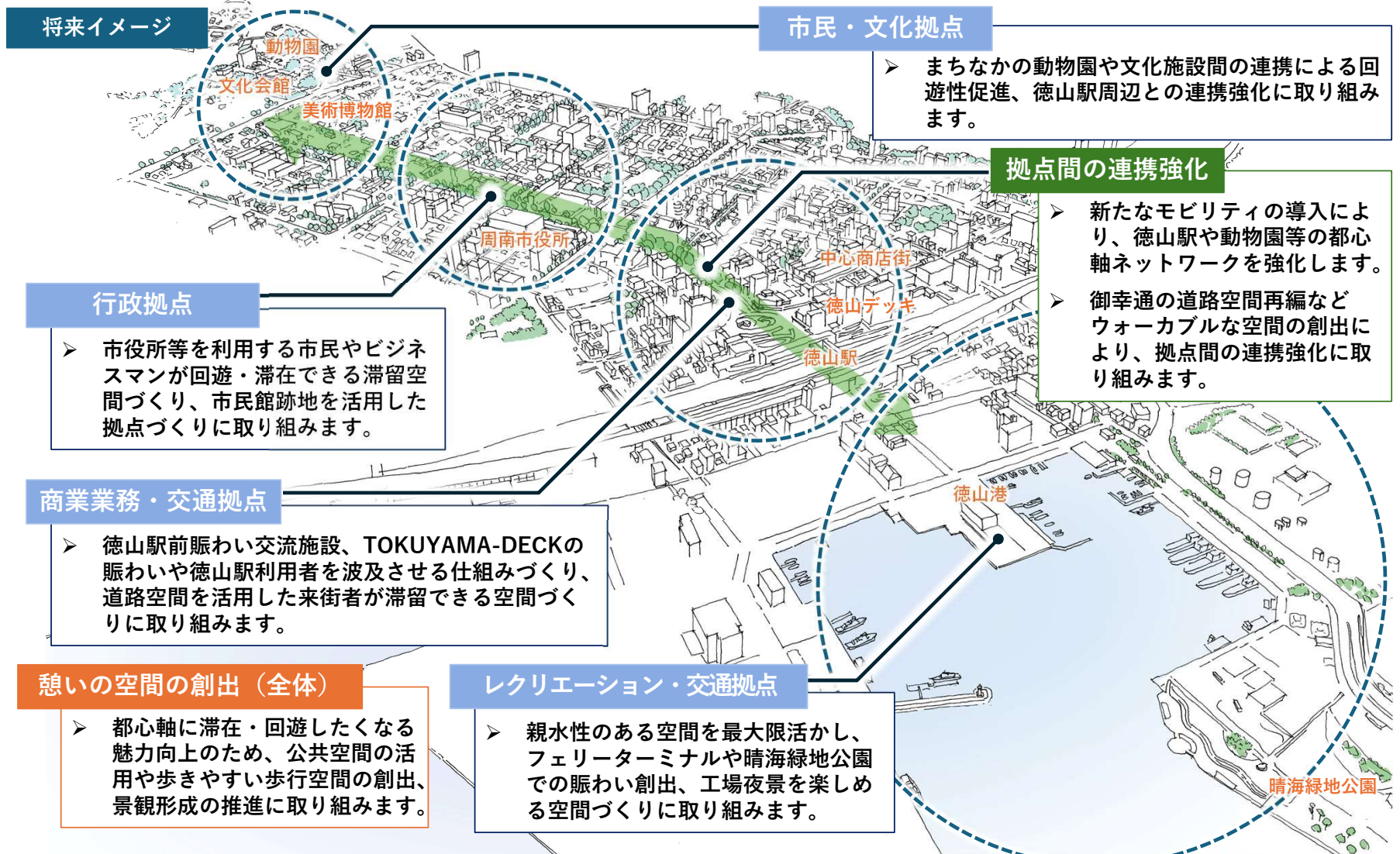
中心市街地活性化の方針  
課題解決に向けた方向性  
**ウォーカブルなまちづくりの考え方**  
実現イメージ

04 社会実験による検証

05 基本方針に基づく各取組

06 エリア別の取組

07 実現のための課題・プロセス



拠点機能の強化 晴海緑地公園の親水性を活かした新たな魅力による拠点形成

01 ビジョンの位置づけ  
・目的

02 まちの現況把握及び  
分析

03 まちづくり基本方針

中心市街地活性化の方針  
課題解決に向けた方向性  
ウォーカブルなまちづくりの  
考え方

実現イメージ

04 社会実験による検証

05 基本方針に基づく  
各取組

06 エリア別の取組

07 実現のための課題・  
プロセス

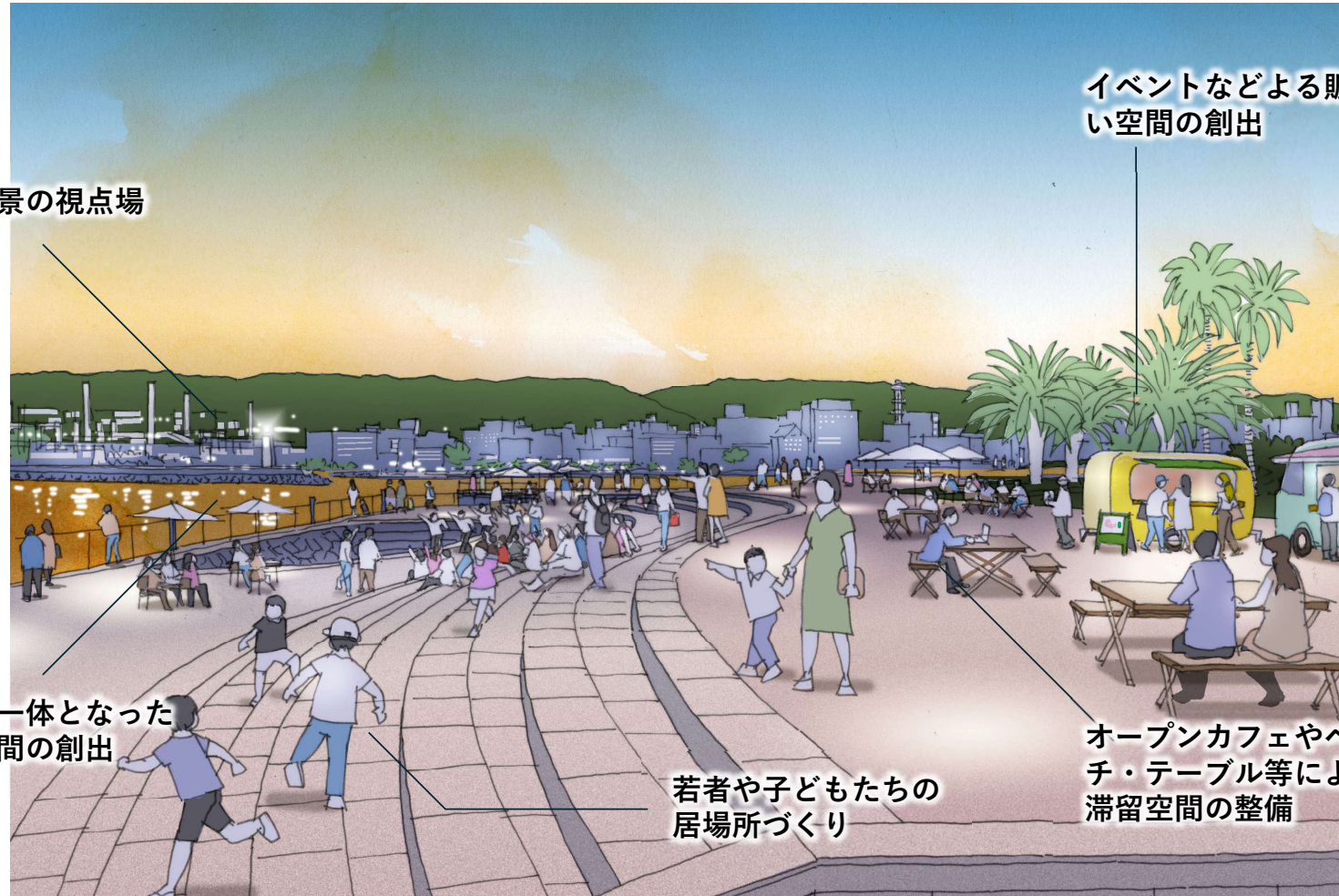
工場夜景の視点場  
づくり

水辺と一体となった  
親水空間の創出

若者や子どもたちの  
居場所づくり

イベントなどによる賑わ  
い空間の創出

オープンカフェやベン  
チ・テーブル等による  
滞留空間の整備



拠点間の連携強化 多様なモビリティにより観光客や周辺居住者が回遊しやすい都心軸の街路形成

01 ビジョンの位置づけ  
・目的

02 まちの現況把握及び  
分析

03 まちづくり基本方針

中心市街地活性化の方針  
課題解決に向けた方向性  
ウォーカブルなまちづくりの  
考え方

実現イメージ

04 社会実験による検証

05 基本方針に基づく  
各取組

06 エリア別の取組

07 実現のための課題・  
プロセス

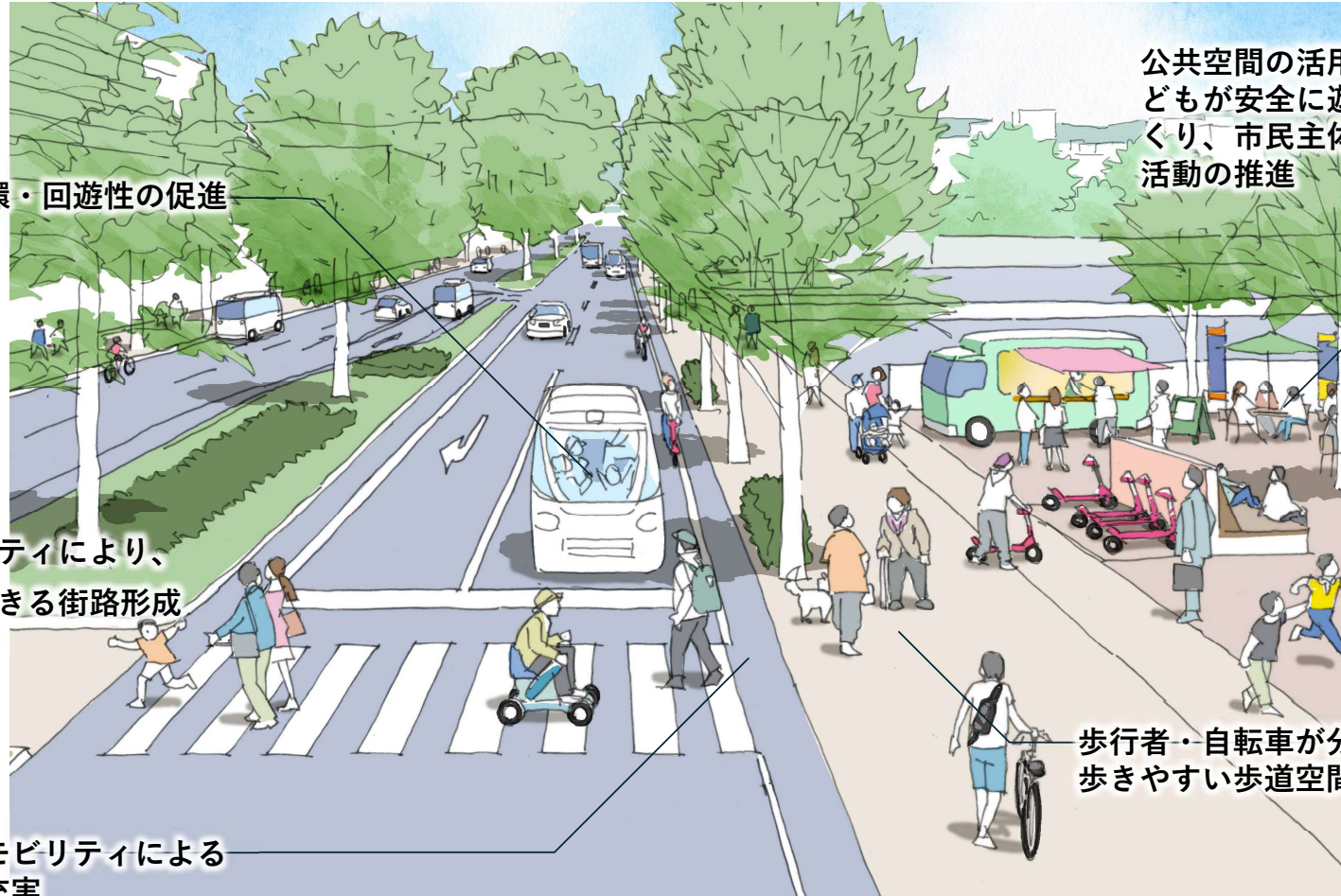
市街地の循環・回遊性の促進

多様なモビリティにより、  
安全に回遊できる街路形成

パーソナルモビリティによる  
移動手段の充実

公共空間の活用による子  
どもが安全に遊べる場づ  
くり、市民主体の取組・  
活動の推進

歩行者・自転車分離された  
歩きやすい歩道空間の創出



## 憩いの空間の創出 道路空間の再編と広場化による日常の来街・回遊・滞在につながる空間形成

01 ビジョンの位置づけ  
・目的02 まちの現況把握及び  
分析

03 まちづくり基本方針

中心市街地活性化の方針  
課題解決に向けた方向性  
ウォーカブルなまちづくりの  
考え方

実現イメージ

04 社会実験による検証

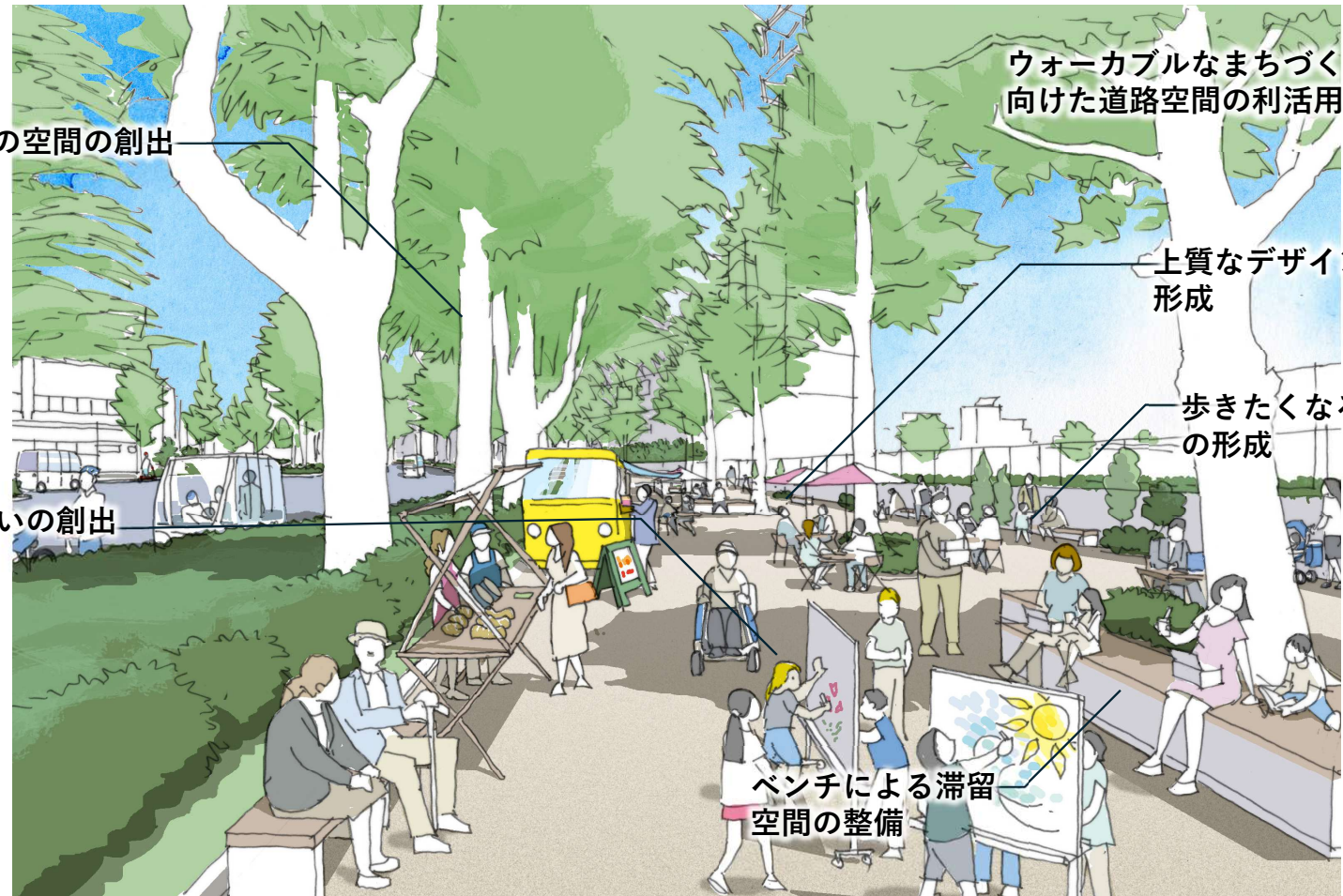
05 基本方針に基づく  
各取組

06 エリア別の取組

07 実現のための課題・  
プロセス

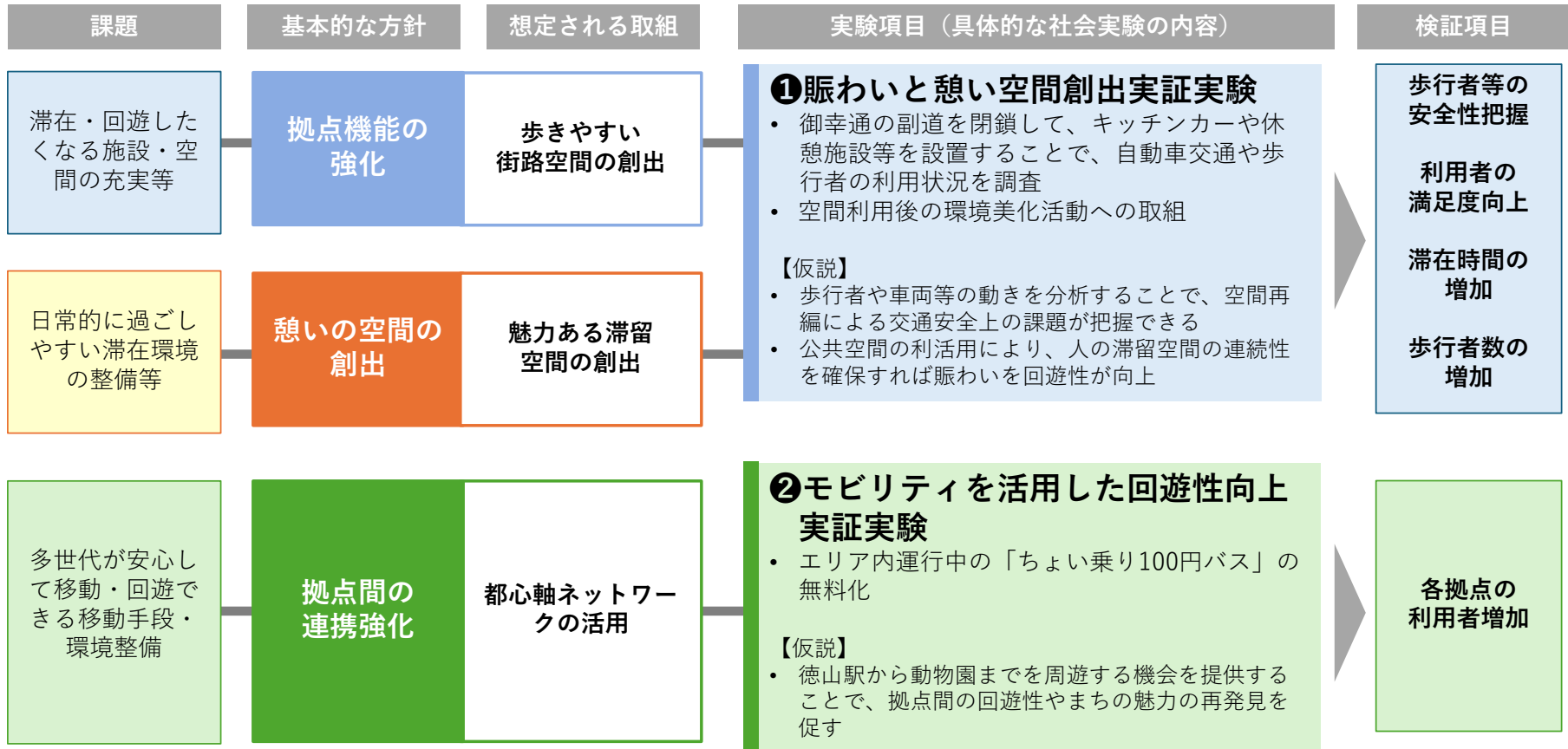
緑豊かな憩いの空間の創出

日常的な賑わいの創出

ウォーカブルなまちづくりに  
向けた道路空間の利活用促進上質なデザイン空間の  
形成歩きたくなる街路空間  
の形成ベンチによる滞留  
空間の整備

### 社会実験の検証内容

社会実験にあたっては、課題、基本方針、想定される取組から、取組を実施した場合の効果を検証し、方針ごとの取組の方向性やアクションプランに反映します。



- 01 ビジョンの位置づけ・目的
- 02 まちの現況把握及び分析
- 03 まちづくり基本方針
- 04 社会実験による検証
  - 社会実験の検証内容と実施概要
  - 検証結果と課題
- 05 基本方針に基づく各取組
- 06 エリア別の取組
- 07 実現のための課題・プロセス

## 4-1 社会実験の検証内容と実施概要

### 社会実験の実施概要

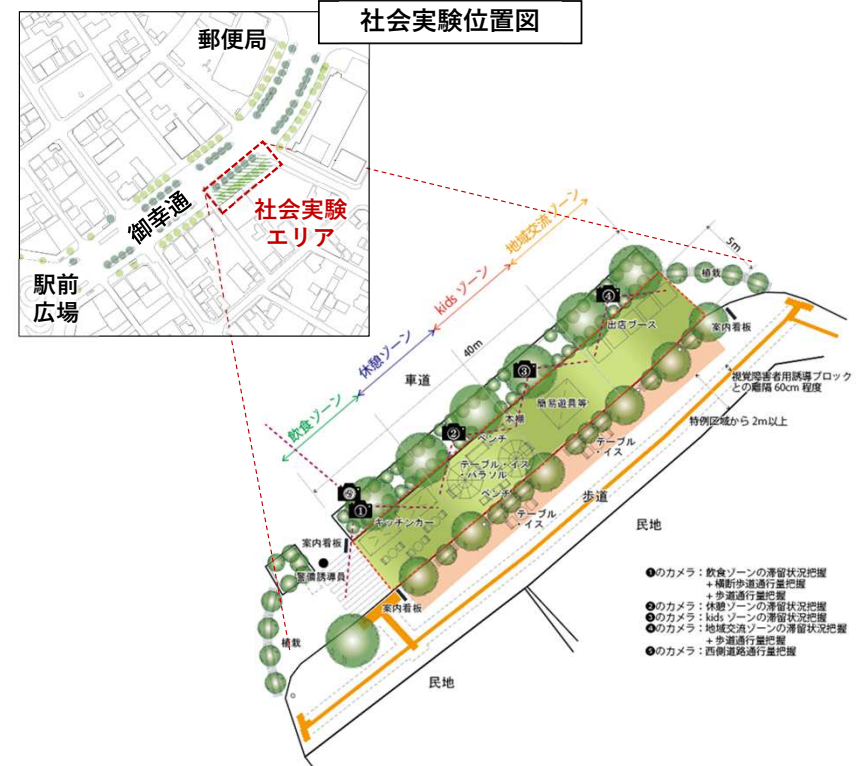
都心軸の特性分析やターゲット別のニーズ分析を踏まえ、御幸通の道路空間の一部に歩行者向けの憩いの空間を設置した場合の社会実験を実施し、回遊性の向上手法等を検証します。

#### ■社会実験の実施概要

項目	概要
実施期間	2025年10月26日(土)～2025年11月2日(日) ※土曜日・日曜日を各2日含む連続した9日間
実施場所	御幸通の副道の一部を通行止め区間とし、芝生を配置
取組内容	地域交流ゾーン…飲食・物販店による出店、VR体験等 kid'sゾーン…幼児用遊具、移動図書、落書きボード等 休憩ゾーン…滞留施設（テーブル・ベンチ・パラソル） 飲食ゾーン…キッチンカー、テーブル・ベンチ

#### ■調査・検証の方法

調査手法	検証内容
利用者アンケート	利用者の滞在時間、消費活動の変化と道路空間活用による利用意向を明らかにする
出店者アンケート	道路空間活用における経済的効果や課題を分析し、今後の関わり方や課題を明らかにする
AIカメラによる滞留人口分析	道路空間活用による人流・滞留活動の変化を明らかにする
プローブデータによる人流分析	道路空間活用による周辺施設（徳山駅、商店街、動物園等）の回遊性の変化を明らかにする
ちよい乗り100円バス利用状況分析	無料券配布による効果、公共交通による回遊性向上の可能性を明らかにする



- 01 ビジョンの位置づけ・目的
- 02 まちの現況把握及び分析
- 03 まちづくり基本方針
- 04 社会実験による検証
  - 社会実験の検証内容と実施概要
  - 検証結果と課題
- 05 基本方針に基づく各取組
- 06 エリア別の取組
- 07 実現のための課題・プロセス

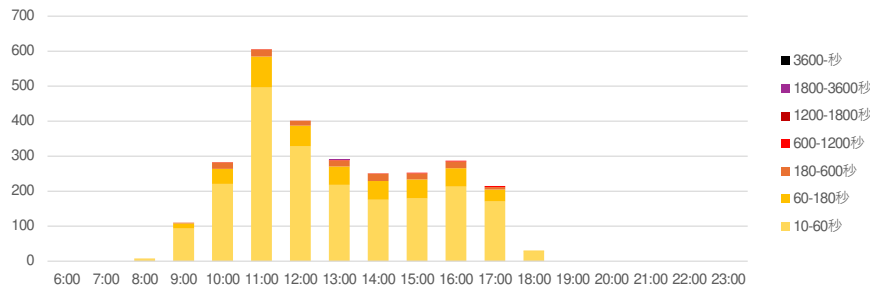
- 01 ビジョンの位置づけ・目的
- 02 まちの現況把握及び分析
- 03 まちづくり基本方針
- 04 社会実験による検証**  
社会実験の検証内容と実施概要  
**検証結果と課題**
- 05 基本方針に基づく各取組
- 06 エリア別の取組
- 07 実現のための課題・プロセス

ターゲットとして、休日（終日）平日夕方（15～17時）における子育て世代（親子連れ）【幼児用遊具・移動図書等】や、平日日中（特に12時前後・18時前後）における周辺勤務者【キッチンカー・滞留施設】が想定される。

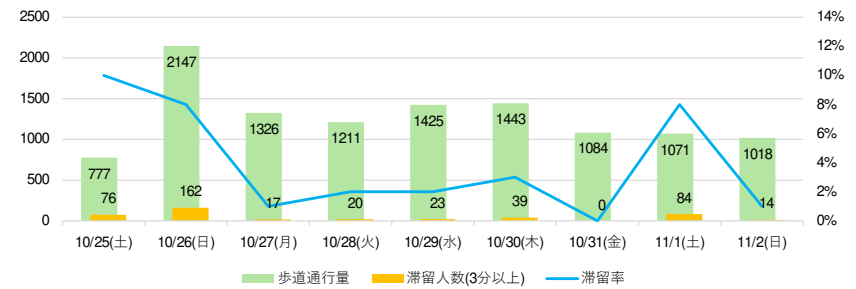
- kidsゾーンの休日の滞留が11時をピークに17時まで継続。30代（子育て世代）の来街割合が高く、休日は周辺商店街への回遊も増加。
- 平日は他のゾーンと比較して、kidsゾーンの15時台の滞留が多く、17時以降の滞留は減少。

- 平日の昼休み時間帯が長時間滞留のピークで、椅子・テーブルのある休憩ゾーンで滞留比率が高い。
- 休憩ゾーンは平日の12時台と18時台で滞留が多く、食事・休憩で利用するニーズが高い。

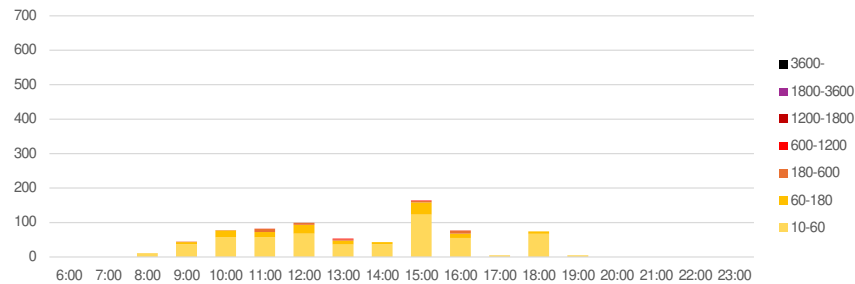
■kid'sゾーンの時間帯別滞留人口（休日11/2） - AIカメラ調査 -



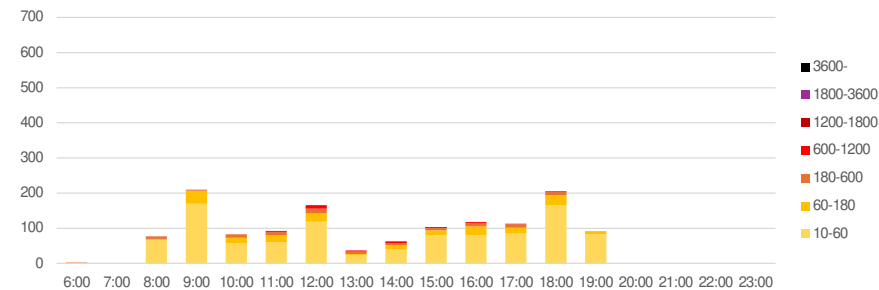
■御幸通歩道通行量と休憩ゾーンの滞留人数・滞留率 - AIカメラ調査 -



■kid'sゾーンの時間帯別滞留人口（平日10/30） - AIカメラ調査 -



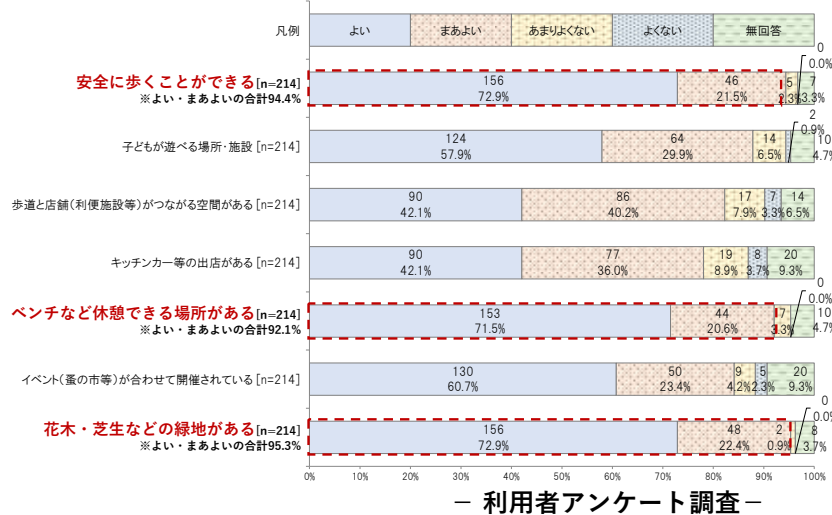
■休憩ゾーンの時間帯別滞留人口（平日10/30） - AIカメラ調査 -



- 01 ビジョンの位置づけ・目的
- 02 まちの現況把握及び分析
- 03 まちづくり基本方針
- 04 社会実験による検証
  - 社会実験の検証内容と実施概要
  - 検証結果と課題
- 05 基本方針に基づく各取組
- 06 エリア別の取組
- 07 実現のための課題・プロセス

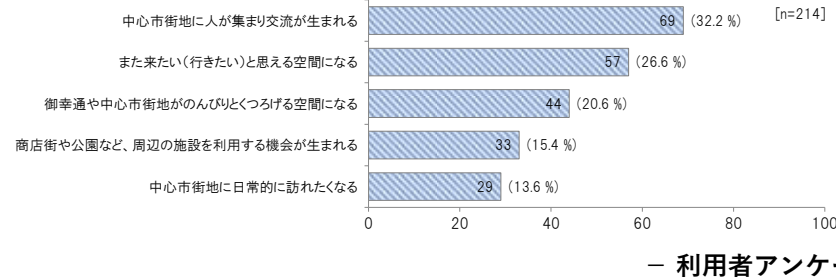
### 安全な歩行空間・休憩スペース・緑地空間への評価が高い。

- 社会実験エリアについての評価では、安全に歩行できる空間があること、休憩スペースがあること、緑地があることへの評価が高い。



### 中心市街地に人が訪れ、交流ができる、憩いの空間になる。

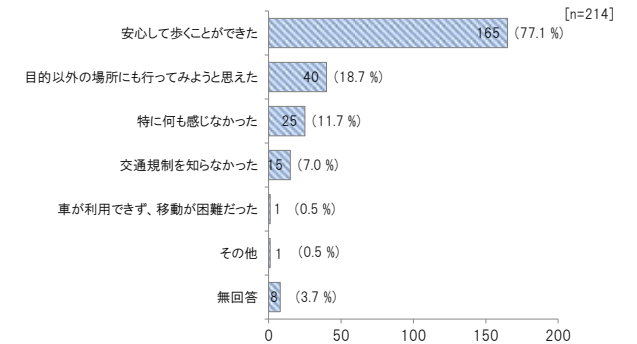
- 中心市街地が憩いの空間ができることで、人が訪れ、交流が生まれ、くつろぐことができる空間に変化する。



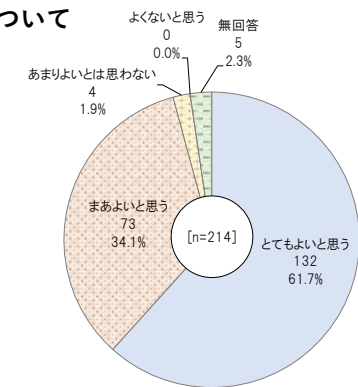
### 車の交通規制により安全な歩行空間の確保ができ、副道の活用においても肯定的な意見が多い。

- 社会実験時、車の通行が規制されていたことにより、安全に歩行できる空間となった。
- 副道の活用については、“よい”という意見が多い。

#### 車の通行規制に関する意見



#### 副道の活用について



— 利用者アンケート調査 —

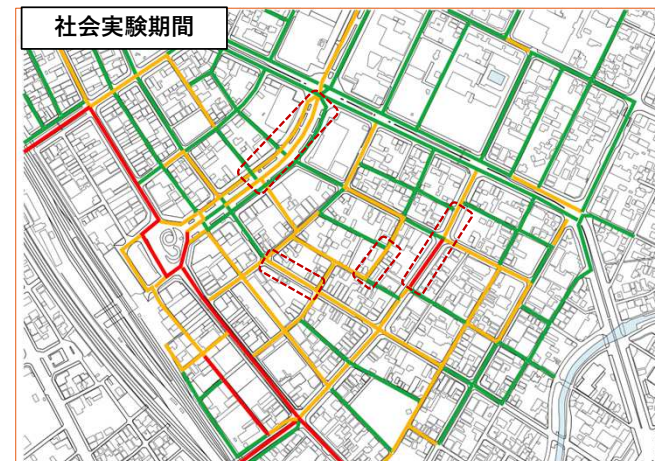
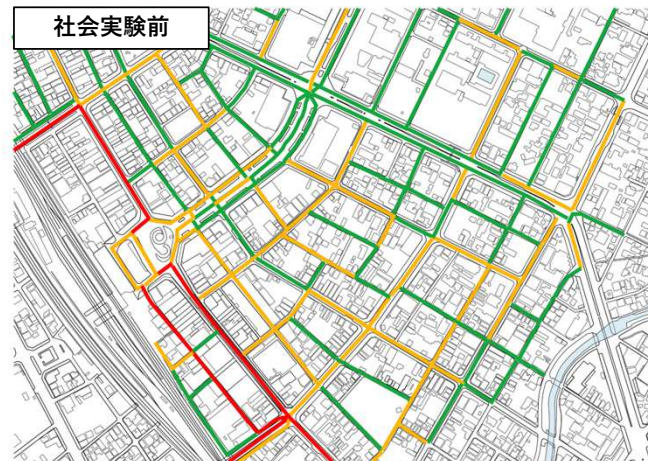
- 01 ビジョンの位置づけ・目的
- 02 まちの現況把握及び分析
- 03 まちづくり基本方針
- 04 社会実験による検証  
社会実験の検証内容と実施概要  
検証結果と課題
- 05 基本方針に基づく各取組
- 06 エリア別の取組
- 07 実現のための課題・プロセス

御幸通周辺や商店街周辺の通行量が増加し、都心軸の人流の重心が東に移動している。

- **社会実験期間中は**、御幸通周辺や商店街周辺の**通行量が増加**している。徳山駅からの都心軸の施設への通行量は、徳山駅から社会実験エリア・徳山郵便局への人流が増加しており、**人流の重心が周南病院付近から徳山郵便局付近に移動**している。



社会実験期間中に通行量が増えている区間



－プローブデータ－

■徳山駅からの施設・距離の歩行者増減及び人流重心

目安施設	駅からの距離	社会実験前	社会実験中	増減数	増減割合
徳山駅と東横イン徳山北口	徳山駅から約150m	782	636	-146	-18.7%
徳山駅と周南病院	徳山駅から約250m	137	146	9	6.6%
徳山駅と社会実験エリア	徳山駅から約350m	234	682	448	191.5%
徳山駅と徳山郵便局	徳山駅から約450m	611	810	199	32.6%
徳山駅と周南市役所	徳山駅から約550m	418	367	-51	-12.2%
徳山駅と中央図書館	徳山駅から約750m	0	35	35	—
徳山駅と岐山ハイツ	徳山駅から約850m	97	57	-40	-41.2%
徳山駅と徳山高校	徳山駅から約1100m	97	91	-6	-6.2%
徳山駅とアルク徳山	徳山駅から約1300m	260	268	8	3.1%
徳山駅と徳山動物園	徳山駅から約1500m	320	563	243	75.9%

	社会実験前	社会実験中
人流の重心 (駅からの距離)	295.32	385.28

○算出条件  
 ・徳山駅と徳山動物園はその施設の範囲を通過  
 ・その他施設は前面道路（西側・東側）を通過  
 ※7:00～19:00のカウント

－プローブデータ－

01 ビジョンの位置づけ・目的

02 まちの現況把握及び分析

03 まちづくり基本方針

04 社会実験による検証

社会実験の検証内容と実施概要

検証結果と課題

05 基本方針に基づく各取組

06 エリア別の取組

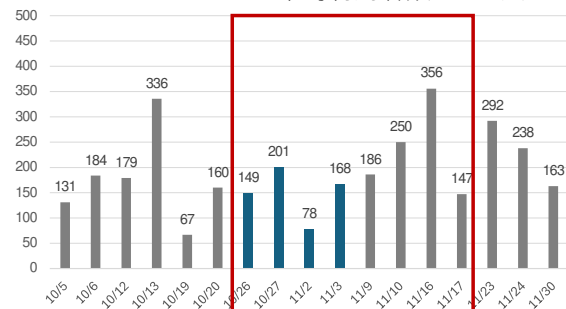
07 実現のための課題・プロセス

ちよい乗り100円バスの利用増加・駐車場利用の減少により、公共交通による移動効果がみられる。

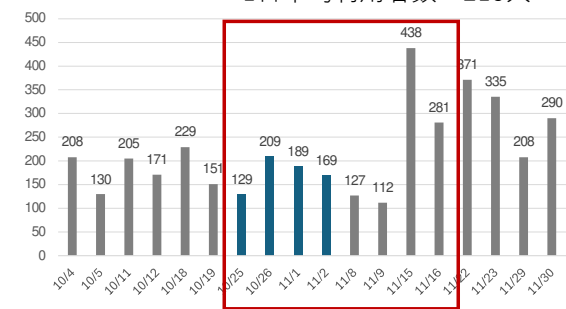
- 実験期間後半（11/1～11/2）や無料券期間終了が近い11/15～11/16で増加。駐車場利用は減少しており、バス無料券の配布（運賃負担の軽減）により、**中心市街地の回遊性向上や来街行動の変化に一定の効果**がみられる。

■ちよい乗り100円バス利用者数

【令和6年乗車数】 10月～11月利用者数合計：3,285人  
1日平均利用者数：193人



【令和7年乗車数】 10月～11月利用者数合計：3,662人  
1日平均利用者数：215人



社会実験期間中の社会実験エリアと徳山動物園や徳山駅へ同日に移動している方は増加。

- 社会実験期間中と前年度の同期間における来街者の回遊（同日に両方のエリアを通行した人数）をみると、社会実験エリアと徳山動物園や徳山駅への回遊がみられ、特に、**社会実験エリアと動物園の同日通行の増加**に効果がみられる。

■来街者の回遊状況（同日の通行） - プローブデータ -

【社会実験期間】 令和7年10月25日～11月2日	【前年度同期間】 令和6年10月26日～11月3日
<p>●社会実験エリア⇄徳山動物園</p>	<p>●社会実験エリア⇄徳山動物園</p>
<p>●社会実験エリア⇄徳山駅</p>	<p>●社会実験エリア⇄徳山駅</p>

01 ビジョンの位置づけ  
・目的02 まちの現況把握及び  
分析

03 まちづくり基本方針

04 社会実験による検証

社会実験の検証内容と  
実施概要

検証結果と課題

05 基本方針に基づく  
各取組

06 エリア別の取組

07 実現のための課題・  
プロセス

## 社会実験エリア・商店街を回遊する30代居住者の通行量割合が増加

- 30代（子育て世代）居住者の通行量割合が多く、社会実験期間中はより御幸通に近いエリアでの通行量割合が増加。社会実験期間中の「社会実験エリアー徳山動物園」や「社会実験エリアー徳山駅」へ同日に移動している方は増加。

## ■社会実験期間の歩行者年齢別通行人口（30代居住者）－プローブデータ－



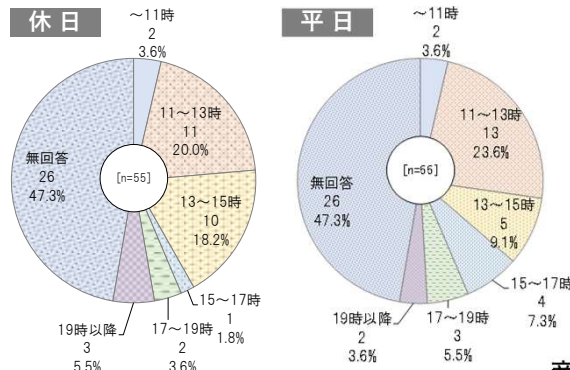
## 【利用者のニーズ・課題】

- 空間活用への賛同・出店に興味が高く、恒常的な歩行者空間化や御幸通の緑空間や景観を生かした道路の再編・リニューアルへの期待が高い。
- kidsゾーンのニーズ・利用が高く、集客・利用の中心コンテンツとして期待。ニーズが高い子どもの遊び場と連携した大人の休憩環境・飲食の充実を図ることによる相乗効果が期待できる。
- 歩行者が利用しやすい、休憩スペース・滞留スペース、飲食が楽しめるスペースの確保することで、滞留率の向上が期待できる。

## 周辺の商店街へは平日・休日ともに「11～13時」のにぎわいが多く、商店街のにぎわいへの波及が期待。

- 社会実験時の商店街のにぎわいについては、イベント時以外は平常時と大きく変わらないが、昼食時間帯は多くの方が訪れている。
- 憩いの空間により商店街のにぎわいへの波及が期待される。

## ■にぎわいのあった時間帯



－ 商店街事業者アンケート調査－

## 【出店者のニーズ・課題】

- 出店者が出店しやすい設備・安全・情報（周知）の環境づくりが求められる。

## 【広域的回遊性の課題】

- 中心市街地の回遊性を高めるためのバス利用を日常利用につなげるための運行内容・仕組みの検討が必要。

## 【道路・駐輪環境の課題】

- 自転車利用を見据えた駐輪スペースの確保、荷捌き位置・動線の確保が必要。

## 市民・文化拠点

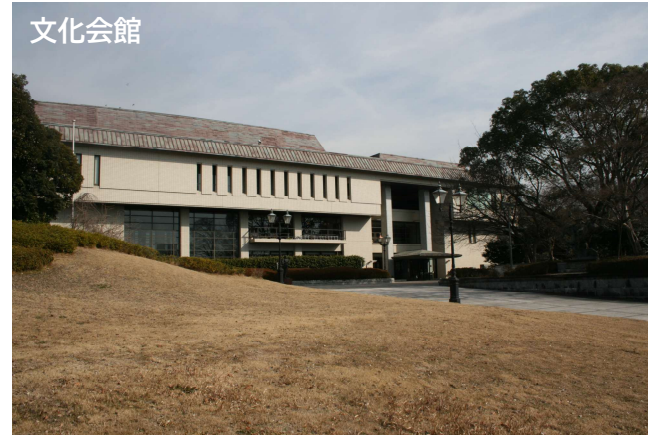
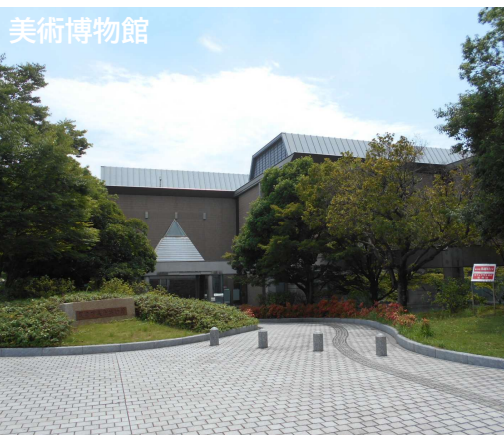
市民・文化拠点では、徳山動物園のリニューアル事業に**Park-PFI+指定管理者制度による民間活力の導入**を進めます。まちなかの動物園という特色を生かした取組を官民が一体となって推進していきます。

動物園のリニューアルに合わせて、体験的イベント等を実施、SNSなどでの情報を発信します。

また、文化会館の改修や美術博物館での展覧会等による文化活動の場として活用を図り、**来街者等の小さな回遊を促すための機能誘導を検討**します。

## 取組の方向性

- 官民連携による徳山動物園のリニューアルの推進
- 文化会館の改修・整備
- 美術博物館等の来街者・住民の文化活動の場としての活用と小さな回遊促進
- シニア層が歩きやすい安全な歩行空間とオープンカフェ、ベンチ等による休憩できる場づくり



01 ビジョンの位置づけ・目的

02 まちの現況把握及び分析

03 まちづくり基本方針

04 社会実験による検証

05 基本方針に基づく各取組

拠点機能の強化

拠点間の連携強化

憩いの空間の創出

官民連携まちづくり

デジタル技術の活用

取組一覧表

06 エリア別の取組

07 実現のための課題・プロセス

## 行政拠点

行政拠点では、文化小ホール、保健センター、立体駐車場の整備とともに、国の合同庁舎の整備、山口銀行との連携など、**国、市、民間が一体となった土地の有効活用**により、更なる賑わいの創出や地域経済の活性化、利便性や都市機能の向上など、市民益の増大を図ります。

これらの公共公益施設の集積を活かした**ビジネスマンの回遊性の促進、子育て・シニア層等が回遊・滞在できる滞留空間の創出・公園の活用**を図ります。

シビック交流センターにおいては**マルシェやイベントを開催**します。

## 取組の方向性

- 市民館跡地の利活用の検討
- 子育て世代の滞在につながるオープンカフェや子どもが安全に遊べる場づくり
- 児玉公園の活用による子どもの居場所づくり
- 市役所でのマルシェやイベントの開催
- シビック交流センターでの研修や市民活動等の推進

01 ビジョンの位置づけ・目的

02 まちの現況把握及び分析

03 まちづくり基本方針

04 社会実験による検証

05 基本方針に基づく各取組

## 拠点機能の強化

拠点間の連携強化

憩いの空間の創出

官民連携まちづくり

デジタル技術の活用

取組一覧表

06 エリア別の取組

07 実現のための課題・プロセス



## 商業業務・交通拠点

商業業務・交通拠点では、徳山駅前賑わい交流施設やTOKUYAMA-DECKがオープンし、賑わいを取り戻しつつあります。

民間事業者、団体により様々なイベントが行われており、行政も使いやすい公共空間の創出や運営で後押しをしています。引き続き、**官民が連携して賑わい創出、市民に喜ばれる空間づくり**を進めていきます。

日常の学生やビジネスマンの飲食、立ち寄りの場、若者の滞留の場として、**趣味娯楽機能の誘導、駅前広場や御幸通周辺の公共空間の活用、行政と民間との連携による賑わい創出**を図ります。

## 取組の方向性

- 徳山駅前広場等を活用したイベントの実施
- 御幸通の道路空間再編などウォークアブルな空間創出による滞留・回遊の促進
- 道路空間の活用における駐輪スペースや荷捌き空間の確保
- まちなかにおける滞留空間の確保
- 若者や中年層の来街目的となる娯楽・商業・飲食機能の誘導などによるまちの魅力向上
- 公共空間における飲食・物販等の日常的なコンテンツの創出
- 市民館跡地から御幸通の統一的な景観デザインを形成するための方針作成

01 ビジョンの位置づけ・目的

02 まちの現況把握及び分析

03 まちづくり基本方針

04 社会実験による検証

05 基本方針に基づく各取組

## 拠点機能の強化

拠点間の連携強化

憩いの空間の創出

官民連携まちづくり

デジタル技術の活用

取組一覧表

06 エリア別の取組

07 実現のための課題・プロセス



## レクリエーション・交通拠点

レクリエーション・交通拠点では、フェリーターミナルが再整備され、イベントにも活用されています。

港と駅が近いという特色を生かし、**晴海緑地公園も含め、官民が連携した賑わいの創出や滞留空間の創出などの取組を検討**していきます。

徳山駅から晴海緑地公園までのモビリティやライトアップなどを検討し、**工場夜景を楽しめる空間づくり**を図ります。

## 取組の方向性

- 晴海緑地公園など港側における滞留空間の創出
- 徳山港フェリーターミナルを活用したイベントや賑わいの創出
- 空間のライトアップ等歩きたくなる空間づくり
- 民間事業者と連携した賑わいの創出
- 工場夜景の視点場としての空間づくり

晴海緑地公園



晴海緑地公園



工場夜景



01 ビジョンの位置づけ・目的

02 まちの現況把握及び分析

03 まちづくり基本方針

04 社会実験による検証

05 基本方針に基づく各取組

拠点機能の強化

拠点間の連携強化

憩いの空間の創出

官民連携まちづくり

デジタル技術の活用

取組一覧表

06 エリア別の取組

07 実現のための課題・プロセス

## 移動・回遊できる仕組みづくり

まちなかにある動物園、歴史資源などを生かしたXR技術による回遊性向上コンテンツの導入検討などを進めます。

特に休日は、動物園への子育て世代の来訪が多く、新たなモビリティや回遊できる仕組みづくりにより、**周辺施設や徳山駅との連携による回遊**を促進します。

新たな移動手段としてのJR徳山駅前と徳山動物園の間の自動運転EVバス、また、シェアサイクルや電動キックボードといったパーソナルモビリティの導入や移動手段と絡めた駐車場の分散利用などを検討し、**徳山駅から各拠点への移動・回遊を促進**します。

## 取組の方向性

- 御幸通の道路空間再編などウォーカブルな空間創出による滞留・回遊の促進
- 歩行者の移動をサポートする電動キックボードやシェアサイクルの導入検討
- 「ちょい乗り100円バス」による市街地の循環・回遊性の促進
- 徳山駅や動物園等の都心軸ネットワークを強化する自動運転バス等の新たなモビリティの導入検討
- XRコンテンツの開発による都心軸内の回遊性向上
- 移動・回遊を促進するための駐車場の利用効率化
- 桜並木など徳山の歴史と文化を堪能するまち歩きによる回遊性向上



写真：PLATEAU 国土交通省

01 ビジョンの位置づけ  
・目的

02 まちの現況把握及び  
分析

03 まちづくり基本方針

04 社会実験による検証

05 基本方針に基づく  
各取組

拠点機能の強化

**拠点間の連携強化**

憩いの空間の創出

官民連携まちづくり

デジタル技術の活用

取組一覧表

06 エリア別の取組

07 実現のための課題・  
プロセス

## 公共空間の利活用

都心軸は戦災復興土地区画整理事業で整備されたこともあり、整然とした都市基盤が構築されています。

そのため、駅前広場、御幸通をはじめ、岐山通、平和通、徳山港線、新町線、児玉町線などの街路や複数の都市公園が存在しています。**それぞれの特色、役割を考慮しながら、景観形成や公共空間の利活用を推進します。**

特に、駅前広場や道路等の公共空間を利用したマルシェやオープンカフェ等により賑わいを創出します。

さらに、御幸通の道路空間再編など、**憩いと賑わいのあるウォークラブルな空間を創出します。**

## 取組の方向性

- まちなかにおける滞留空間の確保
- 道路空間でのオープンカフェ、マーケット等（食事施設・購買施設等）の取組推進
- 周南蚤の市や周南海の市等のマルシェイベントによる賑わいの創出
- 御幸通の道路空間再編などウォークラブルな空間創出による滞留・回遊の促進
- 児玉公園の活用による子どもの居場所づくり
- 子育て世代の滞在につながるオープンカフェや子どもが安全に遊べる場づくり
- 晴海緑地公園など港側における滞留空間の創出
- 徳山港フェリーターミナルを活用したイベントや賑わいの創出



01 ビジョンの位置づけ・目的

02 まちの現況把握及び分析

03 まちづくり基本方針

04 社会実験による検証

05 基本方針に基づく各取組

拠点機能の強化

拠点間の連携強化

憩いの空間の創出

官民連携まちづくり

デジタル技術の活用

取組一覧表

06 エリア別の取組

07 実現のための課題・プロセス

## 景観形成の推進

人々が歩きたくなる、訪れたくなる空間を作るために景観は重要な要素です。景観形成重点地区である都心軸においても、南北の駅前広場を景観重要公共施設に位置づけ、駅前の素晴らしい景観を後世に引き継いでいく取組を進めます。

特に、市民館跡地整備、御幸通道路空間再編などを見据え、**統一的な景観デザインを形成することで憩いと賑わいのあるウォークブルな空間を創出**します。

## 取組の方向性

- 市民館跡地から御幸通の統一的な景観デザインを形成するための方針作成
- 若者や市外からの来街を誘発する良質で魅力ある滞留空間の確保と空間デザインによる周辺施設への誘導
- 緑化やストリートファニチャーの統一的なデザインによるネットワークの視覚化
- 人が行き交い心地よく過ごすことで生まれる憩いと賑わいのある景観づくり
- 空間のライトアップと歩きたくなる空間づくり



01 ビジョンの位置づけ・目的

02 まちの現況把握及び分析

03 まちづくり基本方針

04 社会実験による検証

05 基本方針に基づく各取組

拠点機能の強化

拠点間の連携強化

憩いの空間の創出

官民連携まちづくり

デジタル技術の活用

取組一覧表

06 エリア別の取組

07 実現のための課題・プロセス

## 道路空間の再編

本市の顔であり、駅から市役所周辺を繋ぐ御幸通は、現在の交通量からすると車道が必要以上に広く、副道は駐車場化され、また、歩道は破損など老朽化が進み、市民ニーズに対応しているとは言い難い状況です。

広幅員道路という特色を生かし、市の顔としてふさわしい景観デザイン、歩きたくなる居心地が良いウォークアブルな空間の創出を目指し、**道路空間の再編を含めた御幸通のリニューアルを推進**していきます。



駐車場化している副道

## 取組の方向性

- 御幸通の道路空間再編などウォークアブルな空間創出による滞留・回遊の促進
- 道路と民間施設が一体となった店舗・飲食等（オープンカフェ等）の連続性の創出
- 滞在快適性等向上区域や歩行者利便増進道路制度の設定など道路空間の利活用促進に向けた取組を推進
- 子育て世代・シニア世代が歩きやすい街路整備



御幸通の副道を利用した空間づくり



松山市花園町通り（道路空間の再編例）



姫路駅前（まちなかウォークアブルの整備例）

01 ビジョンの位置づけ・目的

02 まちの現況把握及び分析

03 まちづくり基本方針

04 社会実験による検証

05 基本方針に基づく各取組

拠点機能の強化

拠点間の連携強化

憩いの空間の創出

官民連携まちづくり

デジタル技術の活用

取組一覧表

06 エリア別の取組

07 実現のための課題・プロセス

01 ビジョンの位置づけ  
・目的02 まちの現況把握及び  
分析

03 まちづくり基本方針

04 社会実験による検証

05 基本方針に基づく  
各取組

拠点機能の強化

拠点間の連携強化

憩いの空間の創出

官民連携まちづくり

デジタル技術の活用

取組一覧表

06 エリア別の取組

07 実現のための課題・  
プロセス

多様化する市民ニーズに対応するためには民間の力は欠かせません。これまで拠点形成において、徳山駅前賑わい交流施設のbook&cafeや動物園リニューアル事業へPark-PFIの導入など民間活力の導入を進めています。

さらに徳山駅周辺では公共施設の維持管理・施設運営に民間ノウハウを活用するため、徳山駅周辺官民連携管理運営事業を実施し、イベント数の増加など市民サービスの向上、賑わいの創出に大きな効果を得ています。

これからのまちづくりは**官と民が互いを尊重し、協力して取り組んでいくことが不可欠**です。今後もあらゆる施策で官民が一体となった取組を進めていきます。

### 取組の方向性

- 官民連携による徳山動物園のリニューアルの推進
- 官民連携による公共空間（道路・公園等）の利用促進と効果的な維持管理の推進
- イベントや社会実験における民間事業者の取組推進
- 若者や中年層の来街目的となる娯楽・商業・飲食機能の誘導などによるまちの魅力向上
- 官民が一体となったエリアマネジメントの推進
- 公共空間における飲食・物販等の日常的なコンテンツの創出



01 ビジョンの位置づけ  
・目的

02 まちの現況把握及び  
分析

03 まちづくり基本方針

04 社会実験による検証

05 基本方針に基づく  
各取組

拠点機能の強化  
拠点間の連携強化  
憩いの空間の創出  
官民連携まちづくり  
**デジタル技術の活用**  
取組一覧表

06 エリア別の取組

07 実現のための課題・  
プロセス

ICT、AI、DX、デジタルツイン、スマートシティなど、社会は大きな変革期を迎えています。

周南市は県内でもいち早く3D都市モデルの構築を行っており、また、都心軸においては仮想空間でのまちづくりシミュレーションを行うなど、**デジタルツインに向けた取組**を進めています。

これらの3D都市モデルとXR技術を活用し、動物が市街地に出現するXRコンテンツを開発し、まちなか動物園の特性を生かしたまちづくりを推進することで都心軸内の回遊性向上を図ります。

デジタル技術を活用した効果的で効率的な施策を検討し、**全体最適化**を見据えたエリア構築を進めます。



### 取組の方向性

- 3D都市モデルを活用した民間事業者との将来イメージの共有と市民への発信
- XRコンテンツの開発による都心軸内の回遊性向上
- ネットワークの強化、移動支援における新たな技術の導入の検討
- VRによる施設整備シミュレーションによる事業検討
- AIカメラ等による滞留・回遊性の効果検証



拠点機能の強化

拠点機能の強化における具体的な取組、役割分担、スケジュールを整理します。

拠点	具体的な取組	役割分担			スケジュール			
		県	市	民間	実施中	短期	中期	長期
市民・文化拠点	✓ 官民連携による徳山動物園のリニューアルの推進		●	○	■	■	■	
	✓ 文化会館の改修・整備		●			■	■	
	✓ 美術博物館等の来街者・住民の文化活動の場としての活用と小さな回遊促進		●	○	■	■	■	■
	✓ シニア層が歩きやすい安全な歩行空間とオープンカフェ、ベンチ等による休憩できる場づくり		●	○		■	■	■
行政拠点	✓ 市民館跡地の利活用の検討		●	○	■■■■■	■	■	■
	✓ 子育て世代の滞在につながるオープンカフェや子どもが安全に遊べる場づくり		●	○	■■■■■	■	■	■
	✓ 児玉公園の活用による子どもの居場所づくり		●	○		■	■	■
	✓ 市役所でのマルシェやイベントの開催		●	●	■	■	■	■
	✓ シビック交流センターでの研修や市民活動等の推進		●	●	■	■	■	■

●=主体、○=連携・協力

- 01 ビジョンの位置づけ・目的
- 02 まちの現況把握及び分析
- 03 まちづくり基本方針
- 04 社会実験による検証
- 05 基本方針に基づく各取組**
- 拠点機能の強化
- 拠点間の連携強化
- 憩いの空間の創出
- 官民連携まちづくり
- デジタル技術の活用
- 取組一覧表**
- 06 エリア別の取組
- 07 実現のための課題・プロセス

拠点機能の強化

拠点機能の強化における具体的な取組、役割分担、スケジュールを整理します。

拠点	具体的な取組	役割分担			スケジュール			
		県	市	民間	実施中	短期	中期	長期
商業業務・ 交通拠点	✓ 徳山駅前広場等を活用したイベントの実施	○	●	●	■			
	✓ 御幸通の道路空間再編などウォークアブルな空間創出による滞留・回遊の促進	●	○			■■■■■	■	
	✓ 道路空間の活用における駐輪スペースや荷捌き空間の確保	●	○			■■■■■	■	
	✓ まちなかにおける滞留空間の確保	○	●	○		■	■	
	✓ 若者や中年層の来街目的となる娯楽・商業・飲食機能の誘導などによるまちの魅力向上		○	●				■
	✓ 公共空間における飲食・物販等の日常的なコンテンツの創出			●	●	■	■	
	✓ 市民館跡地から御幸通の統一的な景観デザインを形成するための方針作成			●		■	■	
レクリエーション・ 交通拠点	✓ 晴海緑地公園など港側における滞留空間の創出	○	●	○		■■■■■	■	
	✓ 徳山港フェリーターミナル等を活用したイベントや賑わいの創出	○	●	○	■			
	✓ 空間のライトアップ等歩きたくなる空間づくり		●				■	
	✓ 民間事業者と連携した集客機能の誘致		○	●				■
	✓ 工場夜景の視点場としての空間づくり		●	○	■			

●=主体、○=連携・協力

- 01 ビジョンの位置づけ・目的
- 02 まちの現況把握及び分析
- 03 まちづくり基本方針
- 04 社会実験による検証
- 05 基本方針に基づく各取組
- 拠点機能の強化
- 拠点間の連携強化
- 憩いの空間の創出
- 官民連携まちづくり
- デジタル技術の活用
- 取組一覧表
- 06 エリア別の取組
- 07 実現のための課題・プロセス

拠点間の連携強化

拠点間の連携強化における具体的な取組、役割分担、スケジュールを整理します。

方針	具体的な取組	役割分担			スケジュール			
		県	市	民間	実施中	短期	中期	長期
移動・回遊 できる仕組 みづくり	✓ 御幸通の道路空間再編などウォークアブルな空間創出による滞留・回遊の促進 [再掲]	●	○			■■■■■	—————	
	✓ 歩行者の移動をサポートする電動キックボードやシェアサイクルの導入検討		●	○		■■■■■	—————	
	✓ 「ちょい乗り100円バス」等による市街地の循環・回遊性の促進 [再掲]		●	○	—————		—————	
	✓ 徳山駅や動物園等の都心軸ネットワークを強化する自動運転バス等の新たなモビリティの導入検討	●	○			■■■■■	—————	
	✓ XRコンテンツの開発による都心軸内の回遊性向上	●	●		—————		—————	
	✓ 移動・回遊を促進するための駐車場の利用効率化		●	○		■■■■■	—————	
	✓ 桜並木など徳山の歴史と文化を堪能するまち歩きによる回遊性向上	●	●	●	—————		—————	

●=主体、○=連携・協力

- 01 ビジョンの位置づけ・目的
- 02 まちの現況把握及び分析
- 03 まちづくり基本方針
- 04 社会実験による検証
- 05 基本方針に基づく各取組**
- 拠点機能の強化
- 拠点間の連携強化
- 憩いの空間の創出
- 官民連携まちづくり
- デジタル技術の活用
- 取組一覧表**
- 06 エリア別の取組
- 07 実現のための課題・プロセス

憩いの空間の創出

憩いの空間の創出における具体的な取組、役割分担、スケジュールを整理します。

方針	具体的な取組	役割分担			スケジュール			
		県	市	民間	実施中	短期	中期	長期
公共空間の 利活用	✓ まちなかにおける滞留空間の確保 [再掲]	○	●	○		—————		
	✓ 道路空間でのオープンカフェ、マーケット等（食事施設・購買施設等）の取組推進	●	●	●		■■■■■	—————	
	✓ 周南蚤の市や周南海の市等のマルシェイベントによる賑わいの創出		●	○	—————			
	✓ 御幸通の道路空間再編などウォークアブルな空間創出による滞留・回遊の促進 [再掲]	●	○			■■■■■	—————	
	✓ 児玉公園の活用による子どもの居場所づくり [再掲]		●	○		—————		
	✓ 子育て世代の滞在につながるオープンカフェや子どもが安全に遊べる場づくり [再掲]		●	○	■■■■■	—————		
	✓ 晴海緑地公園など港側における滞留空間の創出 [再掲]	○	●	○		■■■■■	—————	
	✓ 徳山港フェリーターミナル等を活用したイベントや賑わいの創出 [再掲]	○	●	○	—————			

●=主体、○=連携・協力

- 01 ビジョンの位置づけ・目的
- 02 まちの現況把握及び分析
- 03 まちづくり基本方針
- 04 社会実験による検証
- 05 基本方針に基づく各取組**
- 拠点機能の強化
- 拠点間の連携強化
- 憩いの空間の創出
- 官民連携まちづくり
- デジタル技術の活用
- 取組一覧表**
- 06 エリア別の取組
- 07 実現のための課題・プロセス

憩いの空間の創出

憩いの空間の創出における具体的な取組、役割分担、スケジュールを整理します。

方針	具体的な取組	役割分担			スケジュール			
		県	市	民間	実施中	短期	中期	長期
景観形成の推進	✓ 市民館跡地から御幸通の統一した景観デザインを形成するための方針作成 [再掲]		●		■			
	✓ 若者や市外からの来街を誘発する良質で魅力ある滞留空間の確保と空間デザインによる周辺施設への誘導		●	○		■		
	✓ 緑化やストリートファニチャーの統一したデザインによるネットワークの視覚化	●	●			■		
	✓ 人が行き交い心地よく過ごすことで生まれる憩いと賑わいのある景観づくり		●		■			
	✓ 空間のライトアップ等歩きたくなる空間づくり [再掲]		●				■	
道路の再編	✓ 御幸通の道路空間再編などウォークアブルな空間創出による滞留・回遊の促進 [再掲]	●	○			■■■■■	■	
	✓ 道路と民間施設が一体となった（オープンカフェ等）店舗・飲食等の連続性の創出	●	●	●		■■■■■	■	
	✓ 滞在快適性等向上区域や歩行者利便増進道路制度の設定など道路空間の利活用促進に向けた取組を推進	○	●	●		■■■■■	■	
	✓ 子育て世代・シニア世代が歩きやすい街路整備	○	●			■	■	■

●=主体、○=連携・協力

- 01 ビジョンの位置づけ・目的
- 02 まちの現況把握及び分析
- 03 まちづくり基本方針
- 04 社会実験による検証
- 05 基本方針に基づく各取組**
- 拠点機能の強化
- 拠点間の連携強化
- 憩いの空間の創出
- 官民連携まちづくり
- デジタル技術の活用
- 取組一覧表**
- 06 エリア別の取組
- 07 実現のための課題・プロセス

官民連携まちづくり・デジタル技術の活用

官民連携まちづくり、デジタル技術の活用における具体的な取組、役割分担、スケジュールを整理します。

方針	具体的な取組	役割分担			スケジュール			
		県	市	民間	実施中	短期	中期	長期
官民連携 まちづくり	✓ 官民連携による徳山動物園のリニューアルの推進 [再掲]		●	○	■			
	✓ 官民連携による公共空間（道路・公園等）の利用促進と効率的で効果的な維持管理の推進		●	●		■	■	
	✓ イベントや社会実験における民間事業者の取組推進		●	●		■	■	
	✓ 若者や中年層の来街目的となる娯楽・商業・飲食機能の誘導などによるまちの魅力向上 [再掲]			○	●		■	
	✓ 官民が一体となったエリアマネジメントの推進		●	●	■	■	■	
	✓ 公共空間における飲食・物販等の日常的なコンテンツの創出 [再掲]			●	●	■	■	
	✓ 3D都市モデルを活用した民間事業者との将来イメージの共有と市民への発信	●	●	○	■			
デジタル技術 の活用	✓ XRコンテンツの開発による都心軸内の回遊性向上 [再掲]	●	●		■			
	✓ ネットワークの強化、移動支援における新たな技術の導入の検討	●	●			■	■	
	✓ VRによる施設整備シミュレーションによる事業検討		●		■			
	✓ AIカメラ等による滞留・回遊性の効果検証		●		■			

●=主体、○=連携・協力

- 01 ビジョンの位置づけ・目的
- 02 まちの現況把握及び分析
- 03 まちづくり基本方針
- 04 社会実験による検証
- 05 基本方針に基づく各取組**
- 拠点機能の強化
- 拠点間の連携強化
- 憩いの空間の創出
- 官民連携まちづくり
- デジタル技術の活用
- 取組一覧表**
- 06 エリア別の取組
- 07 実現のための課題・プロセス

## エリア設定の考え方

「居心地よく歩いて過ごしたくなるまち」を目指し、前章に掲げる4つの拠点における拠点機能の強化、拠点間の連携強化、憩いの空間の創出、官民連携まちづくり、デジタル技術の活用の方針に基づく取組を推進するとともに、以下の3つエリアごとに各取組を連携し、回遊性の向上を推進します。

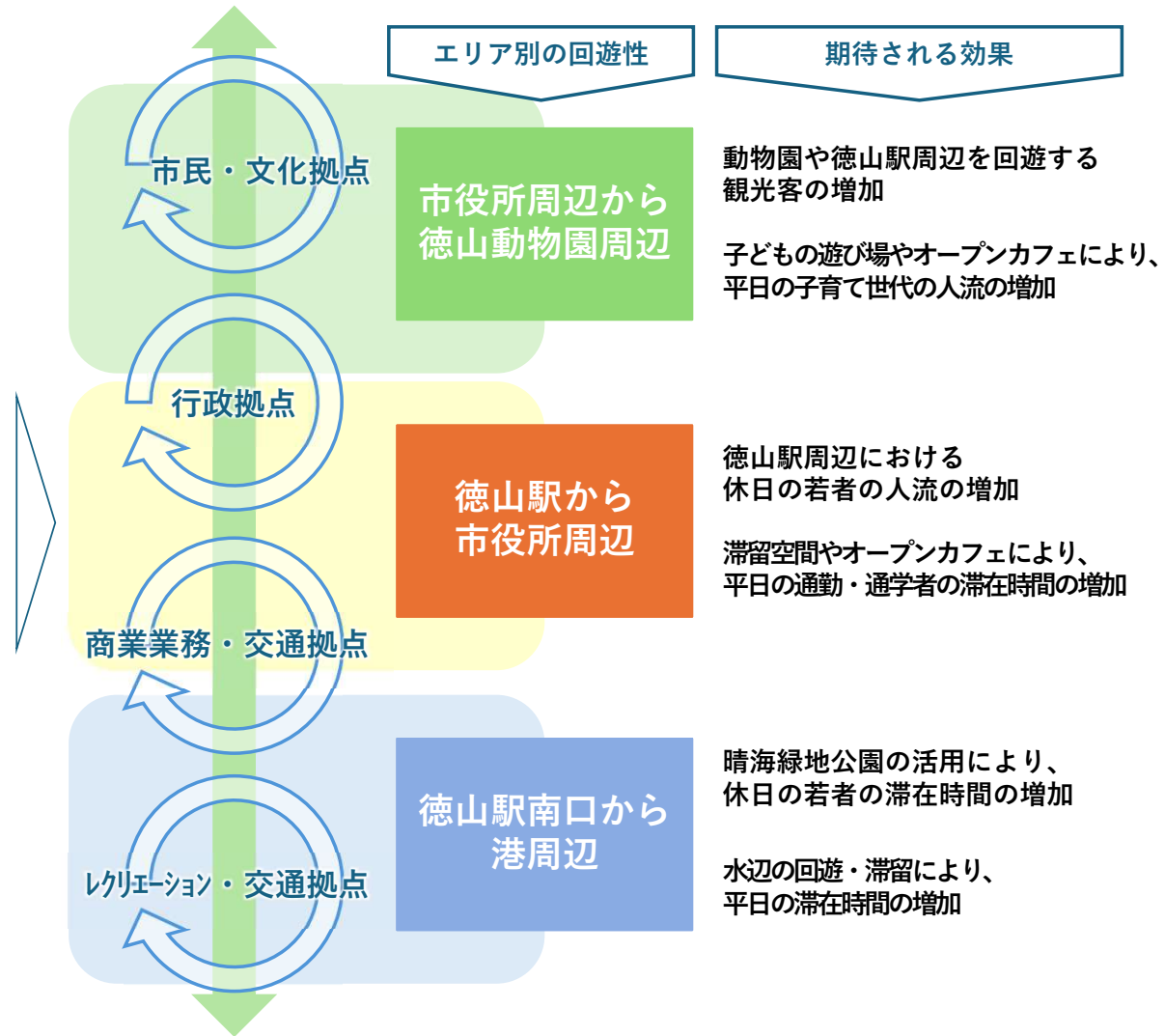
市役所周辺から徳山動物園周辺

徳山駅から市役所周辺

徳山駅南口から港周辺

さらに、エリアごとに想定されるターゲットと期待される効果を整理します。

「居心地よく歩いて過ごしたくなるまち」



01 ビジョンの位置づけ・目的

02 まちの現況把握及び分析

03 まちづくり基本方針

04 社会実験による検証

05 基本方針に基づく各取組

06 エリア別の取組

回遊性向上に向けたエリア設定

徳山駅から市役所周辺における取組

市役所周辺から徳山動物園周辺における取組

徳山駅南口から港周辺における取組

07 実現に向けたプロセス

- 01 ビジョンの位置づけ・目的
- 02 まちの現況把握及び分析
- 03 まちづくり基本方針
- 04 社会実験による検証
- 05 基本方針に基づく各取組
- 06 エリア別の取組
- 07 実現に向けたプロセス


**具体的な取組イメージ**

- 若者や学生・ビジネスマンが滞留できる御幸通の道路空間の再編検討
- まちなかにおける滞留空間の確保
- 子育て世代の滞在につながるオープンカフェや子どもが安全に遊べる場づくり
- 若者や中年層の来街目的となる娯楽・商業・飲食機能の誘導などによるまちの魅力向上
- 官民が一体となったエリアマネジメントの推進


**期待されるライフシーン**

ウォーカブルなまちづくりによって、都心軸においてどのようなライフシーンが実現するのか、ターゲットごとの一日の過ごし方を紹介します。

～ 休日の若者来街シーン ～




**PM**  
駅周辺や商店街を  
買物や娯楽で回遊




**夕方**  
都心軸のオープンカ  
フェや周辺のお店で飲  
食し、休日を満喫！

**取組による効果** 徳山駅周辺における  
休日の若者の人流の増加が期待できます

～ 日常の通勤・通学シーン ～



**昼休憩**  
都心軸のオープンカ  
フェで風食・休憩

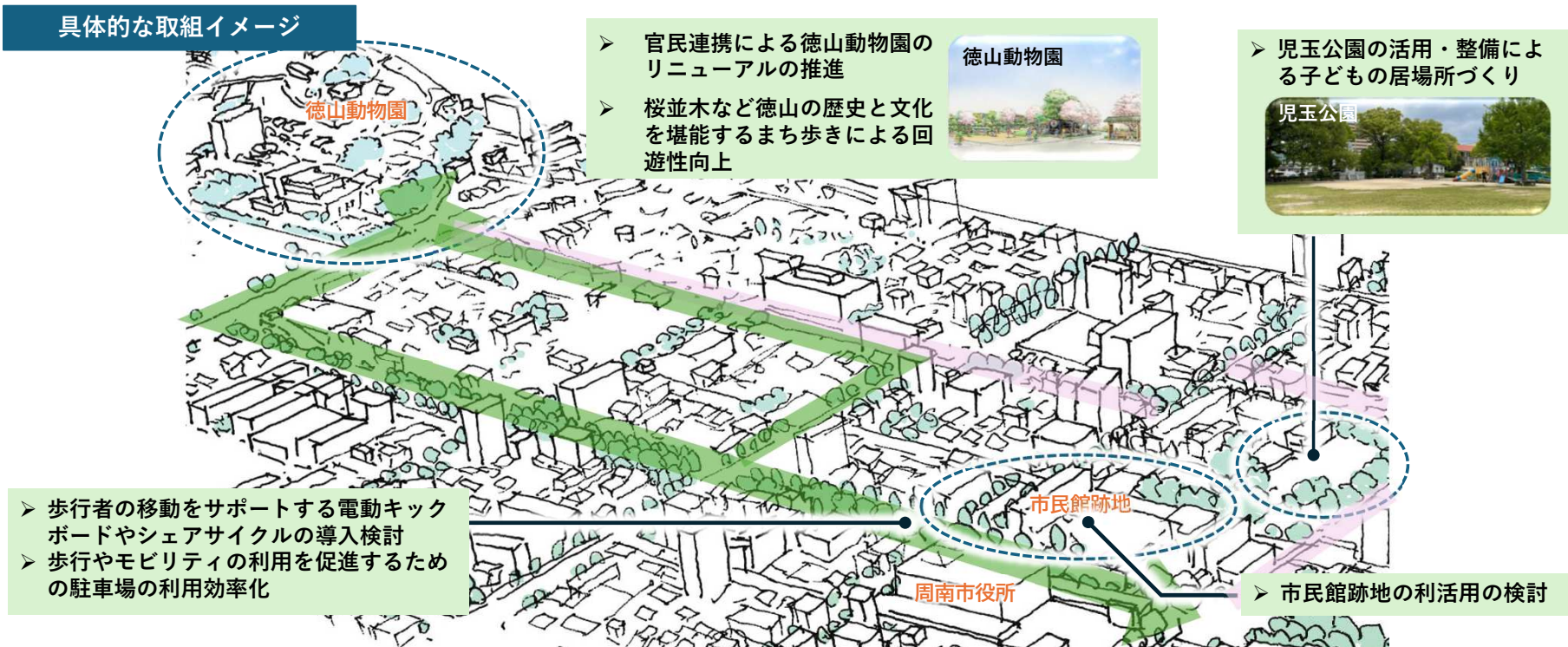


**夕方**  
仕事後、商店街で  
買物・飲食をして  
帰宅

**取組による効果** 滞留空間やオープンカフェにより、  
平日の通勤・通学者の滞在時間の増加が期待できます



- 01 ビジョンの位置づけ・目的
- 02 まちの現況把握及び分析
- 03 まちづくり基本方針
- 04 社会実験による検証
- 05 基本方針に基づく各取組
- 06 エリア別の取組
- 回遊性向上に向けたエリア設定
- 徳山駅から市役所周辺における取組
- 市役所周辺から徳山動物園周辺における取組
- 徳山駅南口から港周辺における取組
- 07 実現に向けたプロセス



**期待されるライフシーン**

ウォーカブルなまちづくりによって、都心軸においてどのようなライフシーンが実現するのか、ターゲットごとの一日の過ごし方を紹介します。

～ 休日の観光シーン ～

AM～昼食

リニューアルされた動物園で親子で休日を満喫！

PM

循環バスで移動し、徳山駅周辺でショッピング

取組による効果

動物園や徳山駅周辺を回遊する観光客の増加が期待できます

～ 子育て世代の生活シーン ～

AM～昼食

公園や都心軸の滞留空間で子どもと遊び、ピクニック

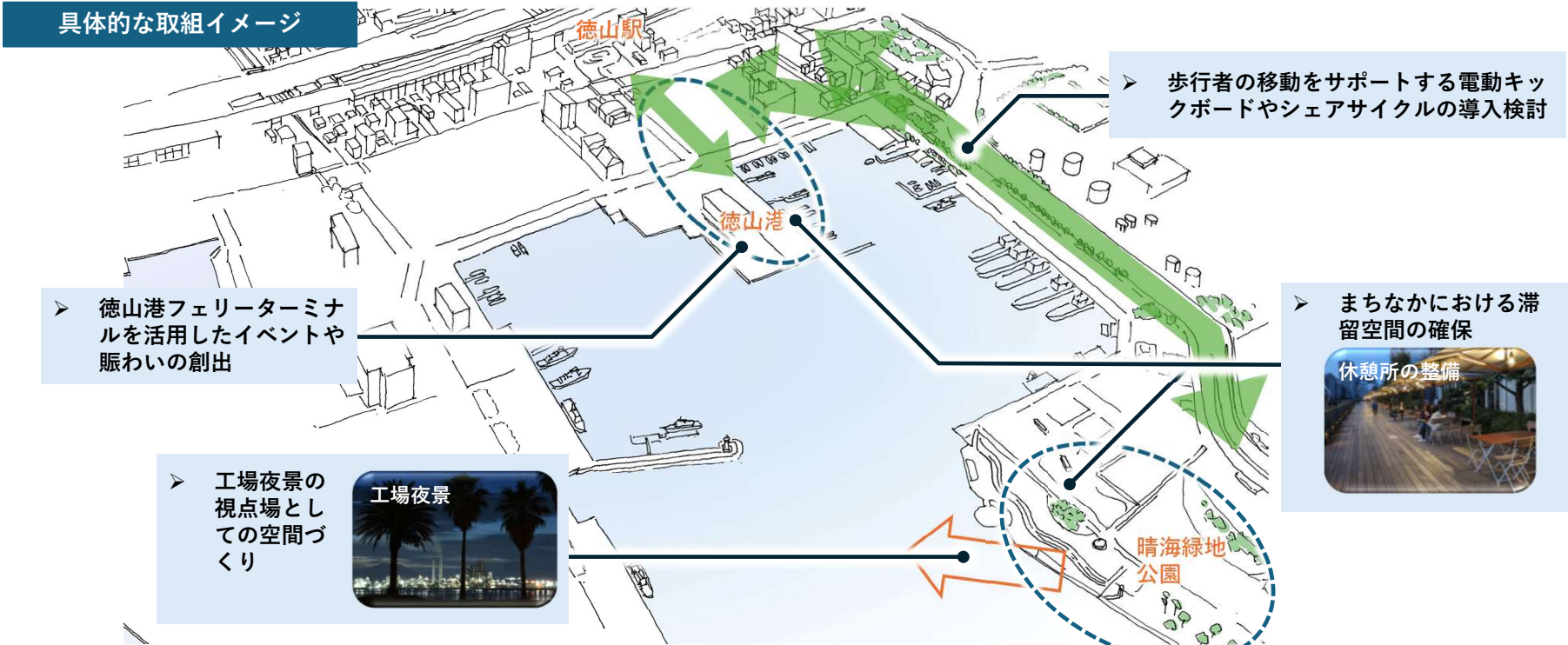
PM

商店街で買物、オープンカフェでおやつ時間

取組による効果

子どもの遊び場やオープンカフェにより、平日の子育て世代の人流の増加が期待できます

- 01 ビジョンの位置づけ・目的
- 02 まちの現況把握及び分析
- 03 まちづくり基本方針
- 04 社会実験による検証
- 05 基本方針に基づく各取組
- 06 エリア別の取組**
- 回遊性向上に向けたエリア設定
- 徳山駅から市役所周辺における取組
- 市役所周辺から徳山動物園周辺における取組
- 徳山駅南口から港周辺における取組**
- 07 実現に向けたプロセス



**期待されるライフシーン**

ウォーカブルなまちづくりによって、都心軸においてどのようなライフシーンが実現するのか、ターゲットごとの一日の過ごし方を紹介します。

～ 若者来街シーン ～

**PM**  
徳山駅周辺での買物やイベントに参加して水辺を回遊

**夜**  
晴海緑地公園で飲食しながら、工場夜景を満喫！

**取組による効果**  
晴海緑地公園の活用により、休日の若者の滞在時間の増加が期待できます

～ 日常の散策・休憩シーン ～

**日中**  
水辺を散策し、フェリーターミナルや晴海緑地公園で休憩

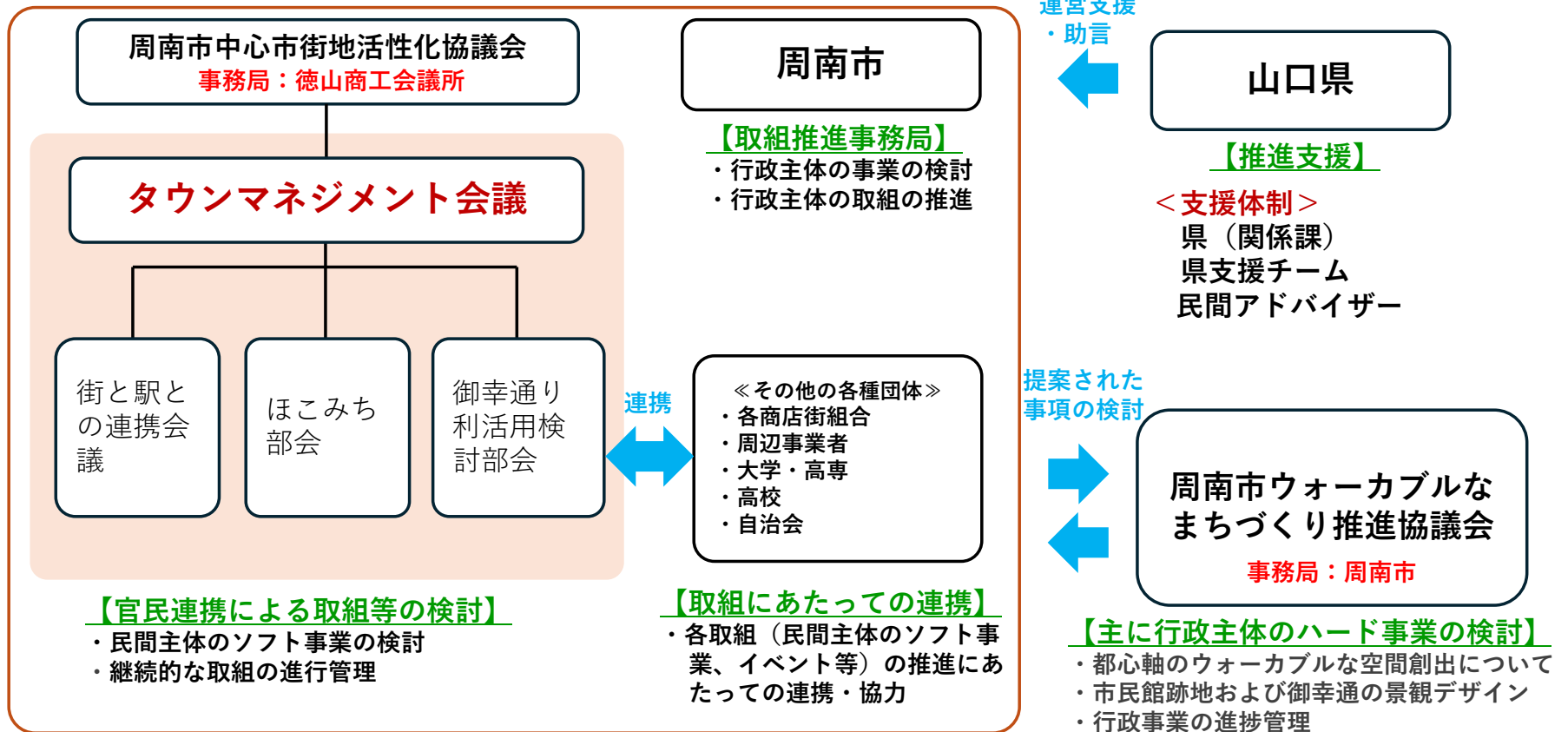
**夕方**  
晴海緑地公園まで歩きながら、飲食・休憩

**取組による効果**  
水辺の回遊・滞留により、平日の滞在時間の増加が期待できます

まちづくり方針の実現、施策の実施に向けては行政と民間が一体となって取り組むことが重要です。

今後は、タウンマネジメント会議と周南市がこれまで以上に連携し、山口県も含め、適切な役割分担のもと本計画を推進していきます。併せて、学識経験者などの専門家、地元関係団体などで構成される周南市ウォーカブルなまちづくり推進協議会とともに計画の実現に向けて、各取組を推進します。

【地域プラットフォームの組織体制図】



01 ビジョンの位置づけ・目的

02 まちの現況把握及び分析

03 まちづくり基本方針

04 社会実験による検証

05 基本方針に基づく各取組

06 エリア別の取組

07 実現のための課題・プロセス

実現のための推進体制

実現に向けたプロセスと課題

実現に向けたステップとして、大きく3つのフェーズと全体マネジメントにより構成します。

官民が適切な役割分担のもと3つのフェーズを進め、周南市とタウンマネジメント会議が、実施計画の策定から事業実施時の進捗確認、マネジメントを行い、本計画の方針の実現に向け、必要に応じて更新しながら官民一体で進めていきます。

01 ビジョンの位置づけ・目的

02 まちの現況把握及び分析

03 まちづくり基本方針

04 社会実験による検証

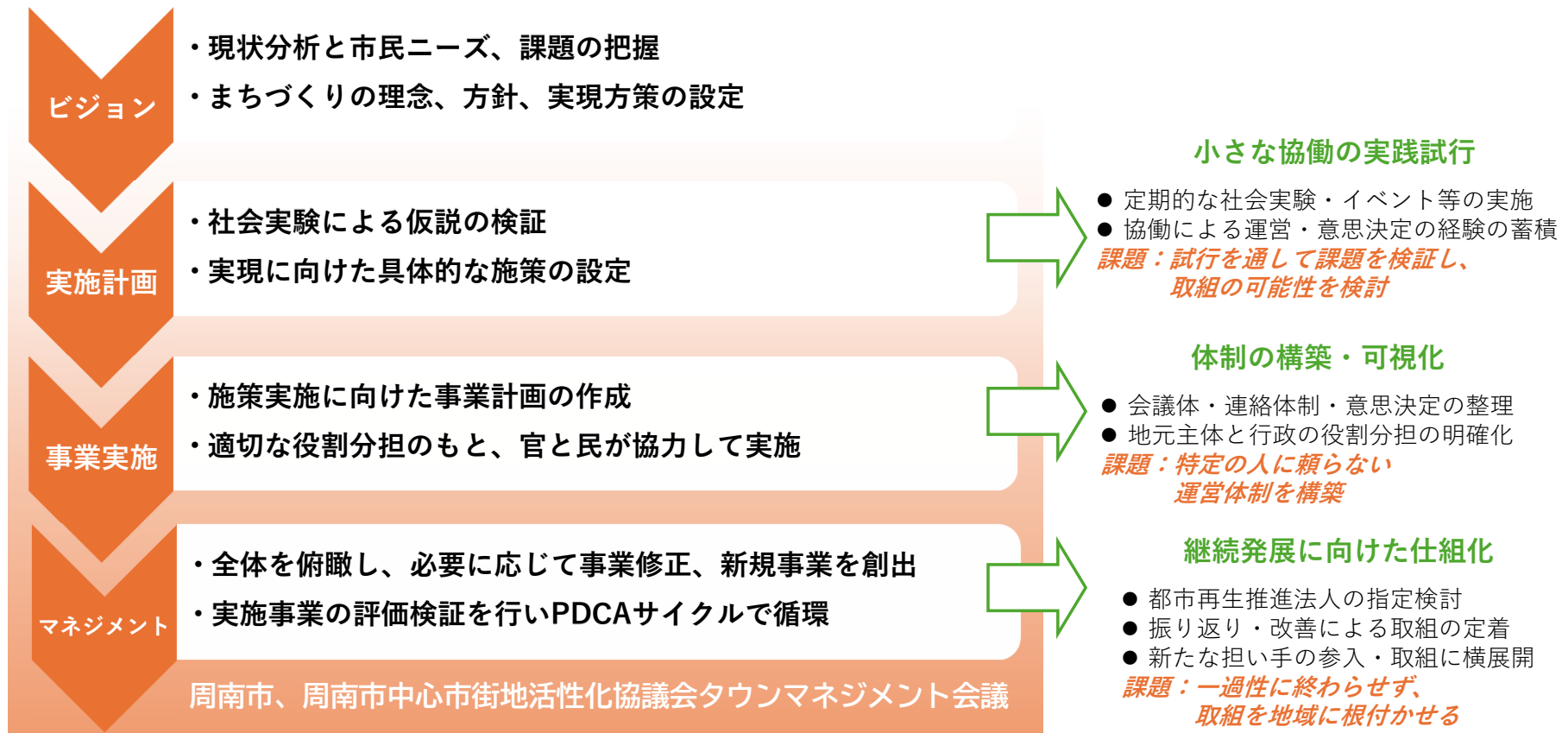
05 基本方針に基づく各取組

06 エリア別の取組

07 実現のための課題・プロセス

実現のための推進体制

実現に向けたプロセスと課題



### 居住・生活目的

#### ターゲットニーズ分析

##### 若年層

- 中心市街地には10代～20代の若年層が一定数居住しており、将来にわたって中心市街地の人口密度を維持するためにも若年層の定住が必要不可欠となる。若年層は、7～9時台、17～18時台の歩行者人口が多くなっている。

##### 子育て・中年層

- 市全体として、子育て・中年層の転出が課題となっており、子育て・中年層の人口が多い中心市街地において、居住する子育て・中年層の転出抑制につながるための取組が必要となる。また、中心市街地地域の北側に子育て・中年層の集積がみられ、一定程度の回遊が想定される。

##### シニア層

- 美術博物館や動物園、徳山港等の集客施設周辺の歩行者人口が比較的多くなっているため、趣味娯楽（文化・自然）等を目的とした歩行が想定できる。

#### 回遊可能性分析

##### 若者～シニア層まで（街頭アンケート）

##### 中心市街地に来訪する目的

- 買い物
- 通勤・通学
- 公共施設利用（駅前図書館・中央図書館）

##### 滞在時間

- 約52%が1時間未満の滞在時間

##### 1来街あたりの消費額

- 約71%が3,000円未満の消費額

##### 中心市街地への期待

- 歩行者が安全に歩くことができる
- 公共的な待合・滞在場所が充実している
- オープンカフェのような歩道と店舗につながる空間がある
- 屋内で仕事・勉強・休憩ができる空間がある
- 飲食ができる場所や店舗がある
- 趣味・娯楽施設がある

##### にぎわい創出のためにやってみたいこと

- イベントの企画・運営に関わりたい
- 歩きたくなる魅力的な景観づくりに関わりたい

##### 子育て世代（子育て世代アンケート）

##### 中心市街地に来訪する目的

- 買い物
- 食事
- 公共施設利用（駅前図書館・動物園・市役所）

##### 滞在時間

- 約43%が1時間未満の滞在時間

##### 中心市街地を居住地に選んだ理由

- 交通の利便性が良い
- 小学校・小学校区
- 幼稚園・保育園・学校が近い

##### 中心市街地への期待

- 広場・公園・ポケットパークのような憩いの屋外空間が点在している
- 公共的な待合・滞在場所が充実している
- 子どもが遊べる場所・施設がある
- オープンカフェのような歩道と店舗につながる空間がある
- 飲食ができる場所や店舗がある
- 趣味・娯楽施設がある

##### にぎわい創出のためにやってみたいこと

- 地域の子どもや若者を巻き込む活動をしたい
- 地域住民や訪問者が集える場所づくりに関わりたい

### 居住・生活目的的回遊特性

- 子育て世代を中心に、長時間滞在したくなる環境整備が求められます。特に親子向け施設の充実、快適な公共空間の整備、地域住民が参加できるイベントの企画が効果的と考えられます。また、幅広い年齢層が快適に過ごせる環境の整備も必要であり、歩行者に優しいまちづくりや多様なライフスタイルに対応した施設の整備が求められます。

- 01 ビジョンの位置づけ・目的
- 02 まちの現況把握及び分析
- 03 まちづくり基本方針
- 04 社会実験による検証
- 05 基本方針に基づく各取組
- 06 エリア別の取組
- 07 実現のための課題・プロセス

- 01 ビジョンの位置づけ・目的
- 02 まちの現況把握及び分析
- 03 まちづくり基本方針
- 04 社会実験による検証
- 05 基本方針に基づく各取組
- 06 エリア別の取組
- 07 実現のための課題・プロセス

通勤・通学目的		回遊可能性分析	
ターゲットニーズ分析		回遊可能性分析	
若年層	高校生・学生アンケート	勤務者アンケート	
<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 高校や専門学校の学生の一定数の安定した歩行往来がある。また、市全体としては、若者の就職時期に若者の転入があり、その転入者の中でも中心市街地周辺で働く若者もいることが想定される。</li> </ul>	<p><b>中心市街地に来訪する目的</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□ 買い物</li> <li>□ 駅やバス停利用</li> <li>□ 食事</li> </ul> <p><b>滞在時間</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□ 約68%が1時間未満の滞在時間</li> </ul>	<p><b>休憩中の外出状況</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□ 食事を取るために外出する</li> <li>□ ほぼ職場から出ない</li> <li>□ 買い物のために外出する</li> </ul>	
子育て・中年層	高校生・学生アンケート	勤務者アンケート	
<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 働き手となる子育て・中年層の地区内従業者（昼間人口）が多く、中心市街地の平日の歩行者のうち1/3が勤務者となっている。また、通勤時・休憩時の歩行者人流も多くなっている。</li> </ul>	<p><b>中心市街地への期待</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□ 公共的な待合・滞在場所が充実している</li> <li>□ まちなみが綺麗である</li> <li>□ 屋内で勉強・休憩ができる空間がある</li> <li>□ オープンカフェのような歩道と店舗がつながる空間がある</li> <li>□ 趣味・娯楽施設がある</li> <li>□ 飲食ができる場所や店舗がある</li> </ul> <p><b>にぎわい創出のためにやってみたいこと</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□ イベントの企画・運営に関わりたい</li> <li>□ 歩きたくなる魅力的な景観づくりに関わりたい</li> </ul>	<p><b>中心市街地への期待</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□ 公共的な待合・滞在場所が充実している</li> <li>□ 歩行者が安全に歩くことができる</li> <li>□ オープンカフェのような歩道と店舗がつながる空間がある</li> <li>□ 屋内で仕事・勉強・休憩ができる空間がある</li> <li>□ 飲食ができる場所や店舗がある</li> <li>□ イベント・青空市等が定期的に開催されている</li> </ul> <p><b>にぎわい創出のためにやってみたいこと</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□ イベントの企画・運営に関わりたい</li> <li>□ 地域子どもや若者を巻き込む活動をしたい</li> </ul>	

### 通勤・通学目的の回遊特性

● 高校生や学生には、美しいまちなみや開放的な空間、娯楽施設や飲食施設の充実が望まれています。また、若者の積極的なまちづくり参加を促すため、イベント企画や景観づくりへの参画できる仕組みが重要です。通勤者には、安全な歩行環境や飲食施設、休憩スペースが求められており、オープンカフェや屋内で作業・休憩できる場所の整備が必要です。

### 来街目的

#### ターゲットニーズ分析

##### 若年層

- 商業施設が集積する徳山駅・御幸通周辺や美術博物館、動物園等の集客施設での若者の休日の歩行者人口が多い。また、来街者の滞在人口は多くなっている。

##### 子育て・中年層

- 商業施設が集積する御幸通や銀座通り、動物園等の集客施設での40歳代以下の子育て・中年層の滞在人口が多くなっている。また、来街者の滞在人口は多くなっている。

##### シニア層

- 美術博物館、動物園等の集客施設での60歳代以上のシニア層の歩行者人口が多くなっている。また、来街者の滞在人口は多くなっている。

#### 回遊可能性分析

##### 若者（街頭アンケート）

###### 中心市街地に来訪する目的

- 通勤・通学
- 趣味・娯楽
- 買い物

###### 目的別の滞在時間

- 食事、趣味・娯楽、公共施設利用は、滞在時間が3時間以上の割合が高くなっている。
- 買い物は、滞在時間が2時間以内の割合が高くなっている。

###### 中心市街地への期待

- まちなみが綺麗
- 公共的な待合空間・滞在場所が充実している
- 屋内で仕事・勉強・休憩ができる空間がある
- オープンカフェのような歩道と店舗がつながる空間がある
- 趣味・娯楽施設がある
- 飲食できる場所が店舗がある

##### 子育て・中年層（街頭アンケート）

###### 中心市街地に来訪する目的

- 買い物
- 公園利用
- 公共施設利用

###### 中心市街地への期待

- 公共的な待合空間・滞在場所が充実している
- 広場・公園・ポケットパークのような憩いの空間が滞在している
- 子どもが遊べる場所・施設がある
- オープンカフェのような歩道と店舗がつながる空間がある
- 飲食できる場所が店舗がある
- イベント・青空市等が定期的に開催されている

##### シニア層（街頭アンケート）

###### 中心市街地に来訪する目的

- 買い物
- 公共施設利用
- 食事

###### 中心市街地への期待

- 歩行者が安全に歩くことができる
- 公共的な待合空間・滞在場所が充実している
- オープンカフェのような歩道と店舗がつながる空間がある
- ベンチなど休憩できる場所がある
- 飲食できる場所が店舗がある
- 雑貨などの買い物ができる店舗がある

#### 来街目的の回遊特性

- 若者、子育て世代、シニア層を含む来街者は、それぞれ異なる目的で訪れますが、共通して求められるのは、快適な滞在場所と考えられます。具体的には、公共的な待機場所、オープンカフェ、飲食店、趣味・娯楽施設、子ども向けの遊び場は整備、また、定期的なイベントが開催されることで、長時間滞在や消費が促進されると考えられます。

01 ビジョンの位置づけ・目的

02 まちの現況把握及び分析

03 まちづくり基本方針

04 社会実験による検証

05 基本方針に基づく各取組

06 エリア別の取組

07 実現のための課題・プロセス

01 ビジョンの位置づけ・目的

02 まちの現況把握及び分析

03 まちづくり基本方針

04 社会実験による検証

05 基本方針に基づく各取組

06 エリア別の取組

07 実現のための課題・プロセス

ビジネス目的	
ターゲットニーズ分析	回遊可能性分析
ビジネスパーソン	ビジネスパーソン
<ul style="list-style-type: none"> <li>徳山駅周辺（御幸通、平和通り、代々木通り）に事業所が集積していることや、商業・宿泊系施設が集積していることから、出張・商談等目的のビジネスマンの歩行者人口が多くなっていることが想定される。</li> </ul>	<p><u>出張先での会議・打合せ・商談等以外の待ち時間の使い方</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>カフェや飲食店で過ごす</li> <li>駅の待合空間で過ごす</li> <li>周辺施設・観光地を巡る</li> </ul> <p><u>中心市街地への期待</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>公共的な待合・滞在場所（屋内もしくは屋根付き）が充実している</li> <li>まちなみが綺麗である</li> <li>屋内で仕事・勉強・休憩ができる空間がある</li> <li>オープンカフェのような歩道と店舗がつながる空間がある</li> <li>飲食ができる場所や店舗がある</li> <li>雑貨・お土産などの買い物ができる店舗がある</li> </ul> <p><u>にぎわい創出のためにやってみたいこと</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>イベントの企画・運営に関わりたい</li> <li>歩きたくなる魅力的な景観づくりに関わりたい</li> </ul>

**ビジネス目的の回遊特性**

- ビジネス目的で来街する人々の特性として、カフェや飲食店での休憩、駅の待合空間を利用することが多い中で、中心市街地には、屋内・屋根付きの待機スペース、仕事や休憩ができる空間、オープンカフェ、飲食店、買い物施設が求められています。

観光目的	
ターゲットニーズ分析	回遊可能性分析
子育て・中年層	来街者（観光目的）
<ul style="list-style-type: none"> <li>動物園では30歳代のファミリー層の滞在人口が多くなっており、中心市街地への来訪者・観光客の発生源となっている一方で、自動車での来園が多いことから中心市街地内の回遊にはつながっていないことが想定される。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><u>滞在時間</u></li> <li>3時間以上が約70%</li> <li>10,000円以上の消費額の割合が多くなる</li> </ul> <p><u>中心市街地への期待</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>歩行者が安全に歩くことができる</li> <li>まちなみが綺麗である</li> <li>オープンカフェのような歩道と店舗がつながる空間がある</li> <li>バスなどで中心市街地に来やすい</li> <li>エリア内の移動手段が充実している</li> <li>飲食ができる場所や店舗がある</li> <li>イベント・青空市等が定期的開催されている</li> </ul> <p><u>にぎわい創出のためにやってみたいこと</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域の飲食店や店舗を盛り上げる活動をしたい</li> <li>地元の人と観光客が交流できる仕組みを作りたい</li> </ul>

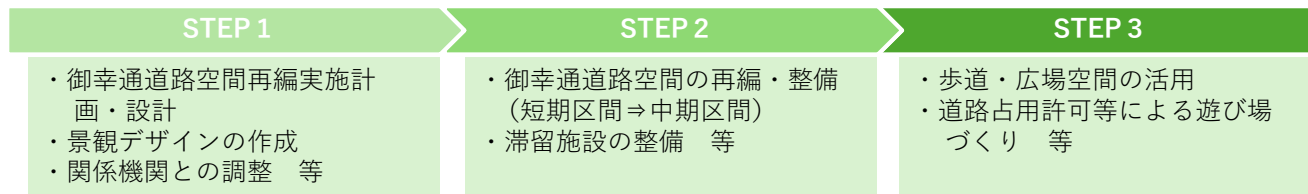
**観光目的の回遊特性**

- 観光目的の来街者は、長時間滞在し、消費も多くなる傾向がある中で、安全な歩行環境、美しいまちなみ、オープンカフェ、充実した交通手段、飲食店やイベントの充実が求められています。また、観光客と地元の交流を促進することも求められています。

### 取組推進にあたっての法・制度等の整理

制度・事業	制度・事業概要	適用場所
都市構造再編集集中支援事業 (都市再生特措法)	・道路再編による歩行空間の整備(景観形成) ・エリア価値向上を目的とした既存ストックを活用した社会実験等	商業業務・交通拠点
滞在快適性等向上区域(ウォーカブル区域) (都市再生特措法)	・道路・公園等の公共施設の整備 ・広場化、滞留施設の整備 ・民地のオープンスペース化、建物低層部のオープン化	御幸通(徳山駅～周南市役所)沿道 ※周辺の民間施設を含む
まちなかウォーカブル推進事業 (都市再生特措法)	・街路空間の再構築 ・街路の広場化・芝生化 ・照明施設の整備、道路の美装化による景観	御幸通を含む一定のエリア
一体型滞在快適性等向上事業 (都市再生特措法)	・道路空間と一体的に民間事業者が交流・滞在空間を創出 ・オープンカフェ等の設置・管理 ・店舗のオープン化によるにぎわい創出	御幸通(徳山駅～周南市役所)沿道 ※周辺の民間施設を含む
歩行者利便増進道路(道路法)	・道路空間を活用した滞留施設の設置、イベントの開催	御幸通、銀座通、一番街、銀南街通、 ぴーえっち通り
道路占用許可特例制度(道路法、都市再生特措法、中心市街地活性化法)	・道路や地下道の空間を利用したオープンカフェの展開 ・道路区域内に看板や広告塔の設置	御幸通、銀座通り、一番街、銀南街 通り、ぴーえっち通り
都市再生推進法人(都市再生特措法)	・社会実験として憩いの場を整備 ・商業店舗や民間団体との連携によるポケットパークや公共空間の活用等	商業業務・交通拠点

### ■道路空間再編の事業の流れ



- 01 ビジョンの位置づけ・目的
- 02 まちの現況把握及び分析
- 03 まちづくり基本方針
- 04 社会実験による検証
- 05 基本方針に基づく各取組
- 06 エリア別の取組
- 07 実現のための課題・プロセス

### 取組推進にあたっての法・制度等の整理

#### ■関連する制度・事業概要

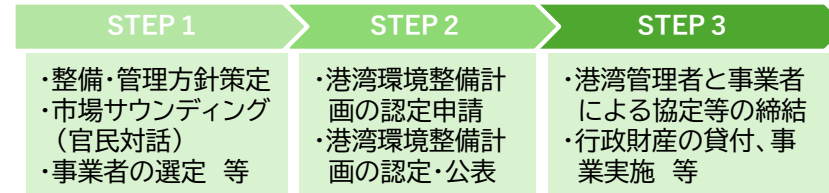
制度・事業	制度・事業概要	活用のメリット	適用場所
港湾環境整備計画制度（みなと緑地PPP） <港湾法>	令和4年12月の港湾法改正において新設された制度。港湾区域内の港湾緑地において、民間事業者が収益施設を整備しその収益を緑地の維持管理等に還元することを条件に、行政財産の長期貸付を可能とする制度。	<b>【港湾管理者】</b> ・財政負担の軽減 ・緑地等のサービスレベルの向上 <b>【民間事業者】</b> ・緑地内に収益施設を長期間安定的に設置 ・緑地等の一体的な整備による質の高い空間形成 <b>【利用者】</b> ・利用者向けサービスが充実 ・緑地等の利便性、快適性、安全性が向上	晴海緑地公園 徳山港フェリーターミナル緑地（築港緑地）等
指定管理者制度<地方自治法>	平成15年の地方自治法改正により導入された、公共施設の管理運営を民間事業者に包括的に委託できる制度。	・人件費・管理コスト削減による財政負担の軽減 ・民間の専門ノウハウ・企画力を活かしたサービスの質・効率の向上	晴海緑地公園 徳山港フェリーターミナル緑地（築港緑地）等
先導的官民連携支援事業	地方公共団体が先導的な官民連携事業の導入検討を行う際に必要となる調査等を支援する制度。	・事業のスキーム・手法や対象施設の種類、調査の進め方等の面で、先導的な官民連携事業の実施に向けた調査検討 ・官民連携事業の導入判断等に必要情報の整備等のための調査	晴海緑地公園 徳山港フェリーターミナル緑地（築港緑地）等

#### ■みなと緑地PPP（港湾環境整備計画制度）イメージ



出典・参考：国土交通省／みなと緑地PPP（港湾環境整備計画制度）

#### ■みなと緑地PPP事業の流れ



- 01 ビジョンの位置づけ・目的
- 02 まちの現況把握及び分析
- 03 まちづくり基本方針
- 04 社会実験による検証
- 05 基本方針に基づく各取組
- 06 エリア別の取組
- 07 実現のための課題・プロセス